

# 令和 6 年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

---

1 管理体制

2 運営および経営取組

3 動物の飼育管理

4 施設等の維持管理

5 管理運営経費

# 令和6年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

<b>1 総括</b> .....	<b>5</b>
<b>2 管理体制</b> .....	<b>6</b>
(1)動物園等の管理体制.....	6
(2)感染症対策の取組.....	
(3)人材マネジメントの取組.....	6
(4)リスクマネジメントへの対応.....	10
<b>3 運営および経営の取組</b> .....	<b>12</b>
(1)目標達成状況.....	12
(2)マーケティング戦略の展開.....	13
(3)利用者に関りを深めてもらう取組.....	24
(4)動物園マネジメントの取組.....	27
(5)学校教育プログラム.....	34
<b>4 動物の飼育管理</b> .....	<b>36</b>
(1)飼育現場での取組.....	36
(2)保全に貢献する取組.....	41
(3)調査・研究などに対する取組.....	49
<b>5 施設等の維持管理</b> .....	<b>51</b>
(1)施設及び設備の維持管理.....	51
(2)園地及び遊具等の維持管理.....	53
(3)施設及び設備等の安全対策.....	54
<b>6 管理運営経費</b> .....	<b>54</b>
(1)算定の考え方.....	54
<b>参考資料</b>	
1 広報印刷物実績.....	58
2 ホームページでの情報発信実績.....	59
3 寄付を活用した展示場改修等の実績.....	60
4 学校プログラム実績.....	61
5 動物園研究会実績.....	63

□ 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル2階(本部)
代表者	理事長 橋本 健
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年4月 1 日から令和8年3月 31 日(よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園)

□ 施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175-1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
野毛山公園(動物園を除く)		
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65-1(こども自然公園内)	管理施設
金沢動物園	金沢区釜利谷東5-15-1	管理施設、および便益施設
金沢自然公園(動物園を除く)		

□ 動物点数(令和7年3月 31 日現在)

よこはま動物園	99 種 572 点
野毛山動物園	65 種 1,178 点
万騎が原ちびっこ動物園	3種 124 点
小計	65 種 1,302 点 ※同じ種を2園で飼育(3種)
金沢動物園	53 種 1,040 点
合計	185 種 2,914 点 ※種数の計は重複種を除いた数

□入園者数(単位:人、カッコ内は前年度比%)

年 度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原 ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
H11	2,246,476 (-)	354,504 (75.7%)	133,355 (113.2%)	399,049 (65.8%)	3,133,384 (-)
H12	1,336,842 (59.5%)	374,400 (105.6%)	126,780 (95.1%)	283,051 (70.5%)	2,121,073 (67.7%)
H13	1,267,011 (94.8%)	509,514 (136.1%)	143,070 (112.8%)	286,170 (101.1%)	2,205,765 (104.0%)
H14	1,066,189 (84.1%)	474,984 (93.2%)	126,192 (88.2%)	268,841 (93.9%)	1,936,206 (87.8%)
H15	1,059,479 (99.4%)	531,661 (111.9%)	158,962 (126.0%)	271,463 (101.0%)	2,021,565 (104.4%)
H16	959,749 (90.6%)	449,658 (84.6%)	185,484 (116.7%)	264,134 (97.3%)	1,859,025 (92.0%)
H17	1,014,329 (105.7%)	497,875 (110.7%)	172,911 (93.2%)	288,524 (109.2%)	1,973,639 (106.2%)
H18	1,044,563 (103.0%)	542,537 (109.0%)	157,654 (91.2%)	310,237 (107.5%)	2,054,991 (104.1%)
H19	1,107,583 (106.0%)	547,461 (100.9%)	131,037 (83.1%)	301,503 (97.2%)	2,087,584 (101.6%)
H20	1,153,756 (104.2%)	577,807 (105.5%)	134,547 (102.7%)	330,496 (109.6%)	2,196,606 (105.2%)
H21	1,221,868(105.9%)	680,777 (117.8%)	140,678 (104.6%)	355,067 (107.5%)	2,398,390(109.2%)
H22	978,791 (80.1%)	659,759 (96.9%)	105,277 (81.8%)	316,843 (89.2%)	2,060,670 (85.9%)
H23	959,231(98.0%)	765,085(115.9%)	128,577(122.1%)	292,333(92.2%)	2,145,226(104.1%)
H24	889,489(92.7%)	992,464(129.7%)	164,733(128.1%)	279,980(95.7%)	2,326,666(108.4%)
H25	920,787 (103.5%)	968,855 (97.6%)	174,078(105.6%)	284,843(101.7%)	2,348,563(100.9%)
H26	941,781 (102.2%)	1,012,000(104.4%)	185,864(106.7%)	285,459(100.2%)	2,425,104(103.2%)
H27	1,216,132(129.1%)	1,095,448(108.2%)	138,266 (74.6%)	287,099(100.6%)	2,736,945(112.9%)
H28	1,086,486 (89.3%)	844,401 (77.1%)	121,509 (87.9%)	305,858(106.5%)	2,358,254 (86.2%)
H29	1,149,654(105.8%)	721,131 (85.4%)	126,563(104.2%)	321,990(105.3%)	2,319,338 (98.3%)
H30	1,077,317 (93.7%)	638,518 (88.5%)	121,219 (95.8%)	299,098 (92.9%)	2,136,152 (92.1%)
R1	982,820 (91.2%)	548,927 (86.0%)	106,528 (88.0%)	246,982 (82.6%)	1,885,257 (88.3%)
R2	754,247 (76.7%)	390,886 (71.2%)	34,202 (32.1%)	263,224(106.6%)	1,442,559 (76.5%)
R3	1,032,780(136.9%)	500,925(128.2%)	65,107(190.4%)	322,346(122.5%)	1,921,158(133.2%)
R4	1,027,968(99.5%)	517,802(103.4%)	64,281(98.7%)	288,689(89.6%)	1,898,740(98.8%)
R5	1,007,874 (98.0%)	486,309 (93.9%)	48,879 (76.0%)	259,242 (89.8%)	1,802,304 (94.9%)
R6	1,003,288 (99.5%)	434,262 (89.3%)	38,186 (78.1%)	257,448 (99.3%)	1,733,184 (96.2%)

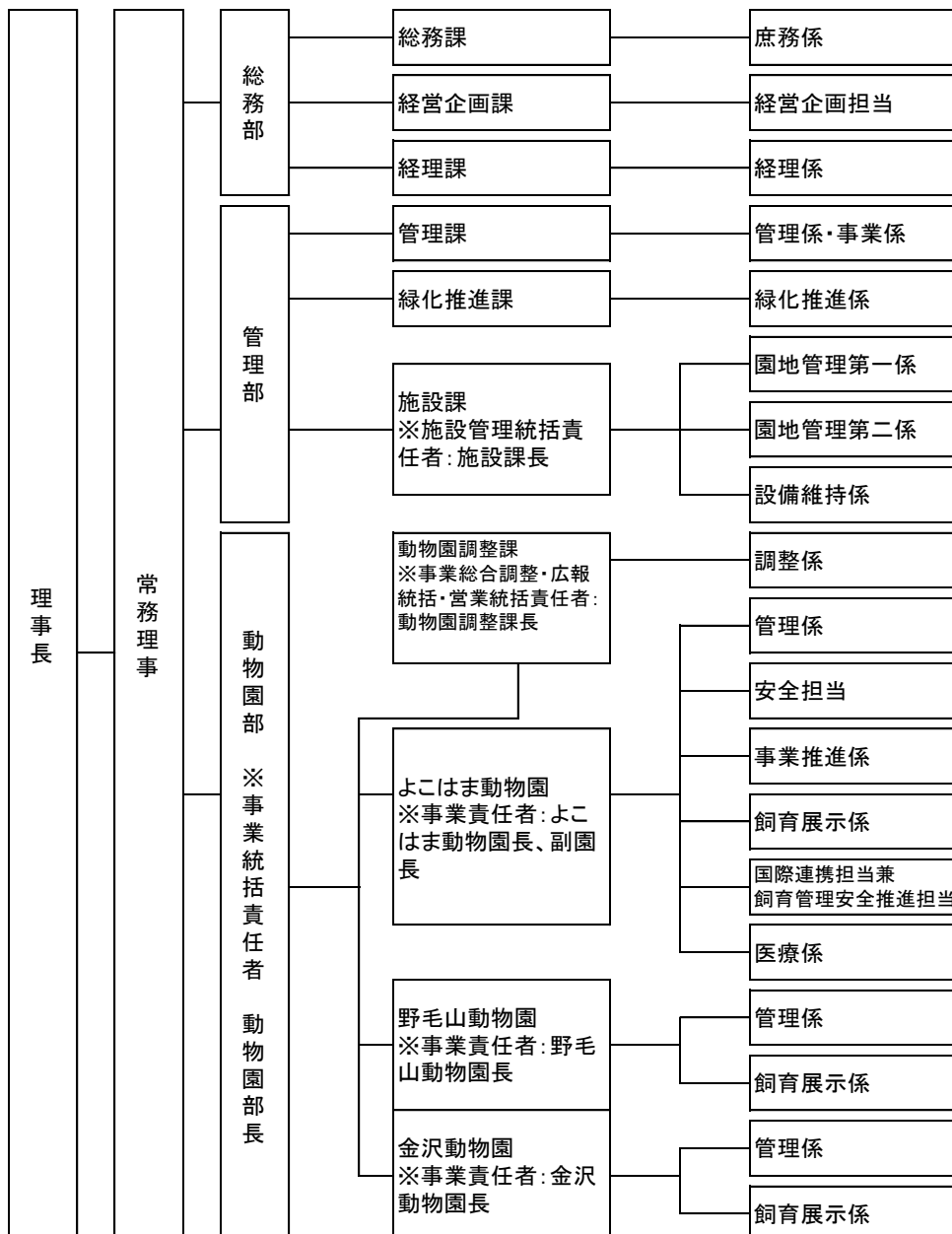
# 1 総括

記録的な夏の猛暑や長引く残暑に加え、野毛山動物園が横浜市のリニューアルの先行整備により、なかよし広場での小動物とのふれあいなど園の一部を閉鎖していた影響で、来園者数が伸び悩みました。しかしながら、各園で、世界キリンの日などの動物の記念日に合わせた関連イベントの実施や野生動物をテーマにした講演会の開催、また、よこはま動物園が開園 25 周年を迎え、周年事業として企画展などを実施するなど、様々な企画を行うことで多くのお客様に楽しんでいただくことができました。

# 2 管理体制

## (1) 動物園等の管理体制

引き続き、3園の事業統括責任者として動物園部長を配置し、本部、3動物園、横浜市との総合的な調整を動物園調整課が担い、必要に応じて本部役員の判断を受ける事業執行体制としました。また、継続的な体制づくりのため、新たに昇任した3名の係長をよこはま動物園、野毛山動物園に配置しました。



## (2) 感染症対策の取組

新型コロナウイルス等に対し感受性の高い動物に近接した作業を行う場合等、必要に応じて感染症対策を実施しました。

## (3) 人材マネジメントの取組

人材育成ビジョンに基づき、職員に対し育成方針や職種ごとの果たすべき役割を推進しました。引き続き動物職、獣医職等の専門職の育成については、OJT(職場内訓練・教育・研修)およびOff-JT(職場外訓練・教育・研修)を組み合わせる人材育成に取り組むほか、必要な資格の取得を奨励しました。また、将来的なマネジメント層の育成・専門性向上を図るため、中堅職員研修、マーケティング研修、ファンドレイジング研修を実施しました。

### ① 人材育成基本方針

- ア 職員の「成長実感＝やりがい」を支援する
- イ 職員の能力を向上させ、「自信」を育む
- ウ 「人を育てる組織風土」を醸成し、組織全体の力を高める

### ② 職種ごとの果たすべき役割(人材育成ビジョンより抜粋)

職種	果たすべき役割
事務	施設の管理運営や文書事務のエキスパートとしての役割を担うとともに、市民や横浜市などのステークホルダーと積極的に対話し、調整します。
造園	利用者が安全に施設利用できるよう定期点検、予防保全を図るとともに、地球環境問題への適応策としての緑化、市民連携、環境教育といった幅広い業務に対応します。
動物・獣医	地球の豊かさを未来につなげる役割を担うとともに、市民や国内外の動物園などのステークホルダーと積極的に対話し、調整を図ることで動物園のプレゼンスを高めます。

### ③ 研修実施・参加実績

研修や講習への参加のほか、イベントや広報、防災等の展示会に適宜参加し、最新の知見を取得するよう努めました。特に安全対策研修は、動物との事故防止を念頭に各園で年4回実施し、施設確認の徹底を図るとともに他園での事故事例の講演を聴講することで、職員の安全意識の醸成を図りました。

#### <基本研修>

実施日時	研修名	対象者
毎月	情報セキュリティ研修	全職員
8月～10月	普通救命講習 (AED含む)	新採用職員、前回受講から3年経過した者
8月～2月 eラーニング	CS・接遇研修	全職員
8月～2月 eラーニング	人権啓発研修	全職員
8月～2月 eラーニング	個人情報保護研修	全職員
8月～2月 eラーニング	ハラスメント研修	管理職
8月～1月 eラーニング	メンタルヘルスケア研修	管理職
2月5日	SDGs研修	各動物園職員
3月8日	安全運転講習	自動車運転従事者

適宜(管理職から職員へ各所属にて実施)	職員向けメンタルヘルスケア研修	全職員
---------------------	-----------------	-----

< 専門職研修 >

実施日	研修名	対象者
毎月	楽しく学ぶ動物園学(よこはま動物園園長による講義)	動物職員
毎月	動物園研究会	各動物園職員
4月26日～	JAZA 第3回栄養シンポジウムの講演動画	動物職員
7月1日	関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会(群馬サファリパーク)	動物職員
7月26日	動物園等における高病原性鳥インフルエンザ対応のための講習会(Zoom)	動物職員
9月11日、12日	JAZA 将来構想の原案検討のためのブレインストーミング会議(Zoom)	動物職員
10月2日、3日	関東東北・北海道ブロック動物園水族館合同技術者研究会(八景島シーパラダイス)	動物職員
10月8日、31日	環境省「鳥インフルエンザの座学講習」動画配信(YouTube 配信)	動物職員
10月28日、29日 12月24日、25日	油等汚染事故対策水鳥救護研修(現地研修)	動物職員
11月19日、20日	日本動物園水族館両生類爬虫類会議(新潟市水族館マリニピア日本海)	動物職員
11月21日、22日	キリン研究会(宇都宮動物園)	動物職員
11月29日、30日	JAZA 栄養シンポジウム(Zoom)	動物職員
12月2日	(公財)東京動物園協会 教育普及ふれあいシンポジウム(Zoom)	動物職員
12月5日、6日	動物園参加型研修会(ワークショップ)(那須サファリパーク)	動物職員
12月9日	JAZA 第2回アニマルウェルフェア研究部シンポジウム(Zoom)	動物職員
12月16日、17日	野生動物保護研修(ツキノワグマと人との共生)	各動物園職員
12月17日、19日	動物園技術者研究会(日本平動物園)	動物職員
12月24日、25日	油等汚染事故対策水鳥救護研修(現地研修)	動物職員
1月22日	関東東北・北海道ブロック動物園飼育係研修会(宇都宮動物園)	動物職員
2月(適宜)	ヒヤリハット研修	動物職員
2月16日	保全シンポジウム 生物多様性保全の10年(東京国立博物館)	動物職員
2月10日～12日	JAZA 動物福祉研究部シンポジウム(Zoom)	動物職員

2月 20 日	関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会 (江戸川区自然動物園)	動物職員
① 4月② 7月③ 11月 ④ 3月4日(Zoom) 3月4日～30日(後日動画 視聴)	安全対策研修①～④(全4回:①～③各園④3 園)	動物職員

#### <階層別研修>

実施日	研修名	対象者
4月1日～4日の内2日 間	新採用飼育・ガイド研修	新採用動物・獣医職員
5月 23 日	新任管理職研修	新採用管理職(係長)
7月 2 日	マーケティング研修(データ分析力養 成)	利用者調査アンケート・イベント企 画・集客等に携わる職員、指定管理 提案書作業部会員
11月 15 日、28 日	管理職研修(部下育成等の知識習得 ほか)	管理職(係長、課長補佐)
11月 15 日、28 日	管理職研修(リーダーの役割)	管理職(課長職)
11月 29 日	中堅職員研修	総合職Ⅱ採用7年目職員
12月 6 日	広聴研修	広聴回答案作成担当者
12月 20 日	ベテラン職員研修	総合職Ⅱ採用 18 年目職員
3月 13 日、21 日	若手職員研修	総合職Ⅱ採用5年未満の動物職員

#### <MBO(目標管理制度)>

各園の目標を職員が共有し、職員一人一人が上司と相談しながら各園の目標達成に向け  
た自らの年間目標を設定し、進捗管理を行いました。業務改善や目標の達成に向けて自ら  
取り組むことで、職員のモチベーション向上を図っています。

#### ④ 資格取得の奨励

(公社)日本動物園水族館協会(以下、「日動水」という。)の飼育技師上級試験に新たに4  
名が合格しました。また、業務を安全に遂行するため、46名が様々な資格を取得しました。

#### 【資格取得実績】

資格名	取得目的	取得人数
飼育技師	職員(動物職)の資質向上のため(日動 水加盟園館在籍2年以上)	(野) 2名 (金) 6名
飼育技師(上級)	職員(動物職)の資質向上のため(飼育 技師を有し、日動水加盟園館在籍 10 年以上)	(よ) 1名 (野) 1名 (金) 2名
フォークリフト運転業務従事者安全 衛生教育	獣舎清掃に必要なため	(よ) 3名

刈払機取扱作業従事者安全衛生教育	展示場及び公園内の除草に必要なため	(よ) 4名 (野) 1名 (金) 2名
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	止まり木のメンテナンス等高所での作業に必要なため	(よ) 2名
振動工具特別教育	飼育環境整備に必要なため	(よ) 8名
丸のこ等取扱い作業従事者に対する安全衛生教育	飼育環境整備に必要なため	(よ) 7名 (金) 1名
小型車両系建設機械運転の特別教育(ボブキャット)	飼育環境整備に必要なため	(よ) 1名 (金) 2名
公園管理運営士更新	公園管理に必要なため	(金) 1名
テールゲートリフターの操作の業務に係る特別教育	飼育環境整備に必要なため	(野) 1名
研削といしの取り換え等の業務	公園管理に必要なため	(金) 1名

#### ⑤ 安定的な雇用と技術継承への取組

令和5年度の退職者の補充等として、3名を係長に昇任させるとともに新たに7名の職員(動物職5名、獣医職2名)を採用し、若年層を補強しました。また、若手職員への技術継承にもOJTを通じて取り組みました。

#### 【主な技術継承への取組の一例】

動物園	取組の一例
よこはま	ゾウ飼育担当職員に対し、マニュアルに沿って育成を実施。 飼育動物の麻酔下での処置にあたり、3動物園獣医師が相互応援を実施。
野毛山	全職員に対し、担当班内の代々番体制構築に向けた実践研修を実施。
金沢	ゾウ飼育担当職員に対し、マニュアルに沿って育成を実施。

#### ⑥ 良好な職場環境作りへの取組

職員が安全に業務に取り組めるよう、健康管理・職場環境の向上に努めました。特に、夏季の屋外作業においては、熱中症警戒レベルに応じた無線での注意喚起や、スポーツドリンクの支給などを行い、職員の熱中症予防に注力しました。

また、横浜健康経営認証(※)において、「クラスAA」に認証され、外部講師による健康講習会を実施しました。

#### 【健康管理・職場環境づくり実績】

項目名	実施日
予防接種(破傷風、B型肝炎)	5月～12月
定期健康診断	7月～12月
健康講習会(安全衛生委員が代表して受講)	11月
特定業務従事者健康診断(レントゲン、滅菌、潜水作業等)	年2回
安全衛生委員会(よこはま)	毎月1回
コロナ感染防止対策の実施(手指消毒薬の設置、共用部分の消毒、定期的な換気等)	常時

公用車へのドライブレコーダー取り付け	常時
衛生推進委員会(野毛山・金沢)	適宜

※横浜健康経営認証とは

職員の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」に取り組む事業所を外部委員で構成される委員会で審査、横浜市長が認証する制度(健康福祉局健康推進課所管事業)。

#### ⑦女性の活躍推進に関する取組

厚生労働省が定める、女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準の5項目全てを満たし、実施状況を女性の活躍推進企業データベースに毎年公表していることから「えるぼし(3つ星)」の認定を受けました。今後も最上位であるプラチナえるぼしの認定を目指し、今後も女性が活躍し働きやすい職場作りに取り組んでいきます。

#### (4)リスクマネジメントへの対応

動物園の防災マニュアルに基づき、防災訓練等を行ったほか、動物の逸走を想定した捕獲訓練を実施しました。また、気象警報の発生時には、マニュアルに基づく特別巡視を行い、被害状況の確認、危険個所の封鎖等の安全措置を講じた上で、早期復旧に努めました。

#### 【訓練実施実績】

##### <情報受伝達訓練(当団体全体)>

実施日	令和6年9月26日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、約300名
訓練内容	午前11時に、横浜市域で震度5強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査し、動物園調整課に情報を集約し、各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

##### <防災訓練>

実施日	よこはま:令和6年10月3日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、32名
訓練内容	旭消防署都岡出張所の協力を得て、防災訓練を実施した。 所長から防災について講和を受け、訓練では炎に見立てたプレートに向かい放水する消火訓練や、火災現場内を想定した煙体験、屋内消火栓を使用したホースの接続や操作を体験した。

実施日	野毛山:令和6年9月30日
参加人数	当団体職員21名、万騎が原委託業者スタッフ2名
訓練内容	西消防署の協力を得て、水消火器を使用した消火訓練、煙幕発生器を使用した煙体験訓練、担架や毛布を使用した救急搬送訓練を行った。

実施日	金沢:令和6年12月2日、3日
参加人数	当団体職員12名、委託業者スタッフ11名

訓練内容	金沢消防署釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。煙幕発生器を使用した煙体験、水消火器による消火訓練。園内に常設の散水栓を使用した放水訓練を行い、消防署長から火災時の対応について講話を受けた。
------	--

### <安全対策研修>

第1回目	指差喚呼
実施日	4月
参加人数	よこはま:37名 野毛山:22名 金沢:20名
講義内容	指差喚呼の目的と効果を学び、指差喚呼の徹底等について講義

第2回目	獣舎点検、事故事例
実施日	7月
参加人数	-
講義内容	1週間にわたり獣舎の施設チェック、事故事例の共有

第3回目	ヒヤリハット
実施日	10月
参加人数	よこはま:42名 野毛山:16名 金沢:17名
講義内容	事前課題として班ごとにヒヤリハット事例の共有、考察と対策。その後全体で発表し共有と考察。

第4回目	外部講師
実施日	令和7年3月4日 (Zoom)
参加人数	よこはま:67名 野毛山:27名 金沢:18名 本部:8名
講義内容	外部講師による安全対策に関する講義

### <動物逃亡捕獲訓練実施実績>

実施日	よこはま:令和7年1月14日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ 約100名
訓練内容	横浜市域で大規模な地震が発生した想定の下で、チンパンジー逃亡時の避難誘導・動物捕獲の訓練を実施した。また、捕獲用具等の使用確認を行った。

実施日	野毛山:令和7年3月10日
参加人数	当団体職員 20名
訓練内容	ボールニシキヘビが逸走した想定のもと、動物捕獲訓練を実施した。その他捕獲用具点検を実施した。

実施日	金沢:令和7年2月17日
参加人数	当団体職員 31名
訓練内容	アラビアオリックスが水モートに落下した想定のもと、避難誘導及び動物捕獲訓練を実施した。その他、捕獲用具点検を実施した。

### 3 運営および経営の取組

#### (1) 目標達成状況

##### ① 入園者数

7月～9月の連日の猛暑のため日中の来園者数が減ったこと、コロナ禍前後のレジャーの分散化、多様化、野毛山動物園のリニューアル先行整備による一部施設の封鎖により目標入園者数には届かなかったものの、よこはま動物園では3年連続で100万人を超えるお客様に来園いただきました。

園名	目標入園者数	令和6年度入園者数 (目標達成率)
よこはま	1,250,000 人	1,003,288 人(80.2%)
野毛山	700,000 人	433,503 人(61.9%)
金沢	330,000 人	257,448 人(78.0%)

##### ② 種の保存(国際的な繁殖計画への参画・連携数)

生息域外保全施設として動物福祉に配慮しながら、動物の移動や繁殖等の飼育管理により、飼育下個体群の遺伝的多様性の保持に努めました。感染症や法的規制で海外からの収集が困難になることを見据え、下記の取組概要のとおり目標達成に向け、2段階に分けた取組を進めました。

目標	セスジキノボリカンガルー・レッサーパンダ等 10 種について、国際的な繁殖計画へ参画・連携する。
取組概要	<p>&lt;ペアリングを行い繁殖に向け重点的に取り組む種&gt;5種</p> <p>① セスジキノボリカンガルー(GSMP): メスが高齢のためペアリングを見送り、GSMP コーディネーターに対し新規個体導入について協議(継続)</p> <p>② レッサーパンダ(GSMP): ファウンダーのペアリングを実施(達成)</p> <p>③ オカピ(SSP): 7月に繁殖に成功し繁殖子が無事に成育中(達成)</p> <p>④ スマトラトラ(GSMP): ペアリングを実施(達成)</p> <p>⑤ ヤブイヌ(EEP): ペアリングを実施(達成)</p> <p>&lt;累代繁殖を継続するため、海外との収集、交流に取り組む種&gt;5種</p> <p>⑥ テングザル: 飼育委任(2年間)の更新についてインドネシア大使館と協議中。原契約の更新については調整継続中(達成)</p> <p>⑦ コアラ(アンバサダー契約): アンバサダー契約に基づき、導入した新規個体も含めた飼育報告の提出や個体導入に向けた継続的な調整を実施(達成)</p> <p>⑧ インドライオン: インドからの新規個体導入について調査。昨年度末にシンガポールから個体導入したのを機に EEP に参画(達成)</p> <p>⑨ ユーラシアカワウソ: ポーランドから新規個体導入(達成)</p> <p>⑩ ヘサキリクガメ: コロナ禍で停滞している国際血統登録者(兼 EEP 調整者)およびカーディフ大学(イギリス)と協力しての遺伝子解析の実施に向けた調整は、大学側と連絡が取れないため断念。台北動物園と個体交換の調整中(継続)</p>

\*GSMP: 世界動物園水族館協会(WAZA)が策定する国際種管理計画

\*SSP: 北米動物園水族館協会(AZA)が策定する種保存計画

\*EEP: 欧州動物園水族館協会(EAZA)が策定する欧州絶滅危惧種計画

### ③ 学校教育プログラムの改善

プログラムの改廃により 27 種のプログラムを実施し、目標3件に対し、4件のプログラム内容を改善しました。

目標	学校等の団体に 27 種の学校教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を3件以上行うこととする。
取組概要	<p>① プログラム「動物福祉の取組み」内に、学校のニーズに合わせて、環境エンリッチメントに関する動画を組み込んだ。(よこはま)</p> <p>② プログラム「どうぶつの赤ちゃん」のスライドの内容を、学校のニーズに合わせて、更新した。(よこはま)</p> <p>③ 「どうぶつの赤ちゃん」(来園プログラム)を学校のニーズに合わせて、模型や写真を使用して実施した。(野毛山)</p> <p>④ どうぶつえんレクチャー「動物のほねときん肉」で、要望の多かったハンズオン標本の補強として人体骨格標本模型を追加、インタラクティブな教材を増やすことでより主体的な学習を引き出した(金沢)</p> <p>その他、引き続き学校の要望に応じて、オンライン等非接触でのプログラムを随時実施した。</p>

## (2) マーケティング戦略の展開

未来の世代に、より豊かな地球環境を残していけるように、動物園が持つ4つの役割を3動物園それぞれが持つ特徴に沿った形で果たし、多くの方々と一緒に野生動物とその生息環境を知り、考え、学び、そして行動することで自然と共生できる社会を作ることを目指し、より多くの皆さまに来園していただくため広報集客活動に取り組みました。

また、動物園への関心をより深めることで、動物園に支援をいただけるよう努めるとともに、新たにブランディングの確立・認知と入園者数の獲得のため、マーケティングの基礎となる、来園者・非来園者を対象としたブランドの認知や傾向の把握についての委託調査を実施しました。

### ① 令和6年度3園の入園者分析

園名	入園者分析
よこはま	利用者アンケートでは、横浜市内だけでなく神奈川県内や東京都、他の都道府県からも広く来園されていることから、そのエリアも含んだ広報活動を行いました。気候帯別・地域別の生息地を再現したデザインコンセプトを活かし、世界を旅するようなワクワク感や動物たちの魅力を体感できる動物園として認知いただけるようイベント内容や広報活動を拡充しました。特に WEB 広告や SNS 投稿の拡充による認知向上と興味喚起施策を行いました。また、JR 東日本とのクイズラリーなどの回遊を連携して行うことで、広域からの誘客を図りました。
野毛山	これまでの学校団体や近隣図書館との連携企画に加え、新たに葉っぱ切り絵アーティストと連携するなど、幅広い年齢層に楽しんでいただき、新たな動物園ファンの獲得を目的とした企画を行いました。また、最寄り駅から近く、徒歩での来園者が多いことから、地元商店街やみなとみらい地域施設との連携や横浜市のみなとみらい地区でのイベントへの協力などを通じて、周辺地域との誘客を図りました。リニューアル先行工事も始まり非展示となる動物も多くなることから、より SNS を活用した情報発信に努め、動物園への関心を高めました。

金沢	<p>横浜市の環境保全教育の拠点としてPR できるよう、SDGs、生物多様性、身近ないきものをテーマに企画を実施し、利用促進につなげました。</p> <p>利用者アンケートでは約半数が市内(金沢区や近隣区中心)からの来園であったことから、地元商店街、近隣施設と連携したPR とともに、積極的にSNS を活用し広範囲へのPR を強化しました。また、Google マップ検索で表示を増やすための広告システムを開始し、認知度向上を図りました。</p>
----	--

## ②潜在的な来園者を想定した来園者増の取組

来園されたことのないお客様の来園を促すため、広報活動、民間事業者との連携活動を通じての認知度の向上を図りました。

## ア 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については、以下の通りでした。

種別	媒体	令和6年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、ホームページ、SNS 等 (P.14～P.15 照)	目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター制作:4回</li> <li>・ホームページイベント特設サイト制作:1回</li> </ul>
		実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター制作:5回(春1、夏2、秋1、冬1)</li> <li>・ホームページイベント特設サイト制作:1回(よ1)</li> </ul>
間接 広報	記者発表、雑誌、市・区 広報紙、web (P.16 参照)	目 標	メディア掲載件数:1,000 件
		実 績	<p>661 件</p> <p>テレビ・ラジオ:131 件(よ 88、野 21、金 22)</p> <p>インターネット、新聞、雑誌、広報誌、フリーペーパー等:530 件(よ 299、野 113、金 118)</p> <p>※令和4年度より掲載件数の算出方法を1社掲載につき1件に変更した。(従前は、1社が複数掲載した場合は複数件としていた。)</p>
広域 広報	SNS でのキャンペーン (P.15 参照)	目 標	各園1回
		実 績	4回(よ1、野1、金2)

## イ 直接広報

### (ア)看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせて様々な媒体・方法で広告・宣伝活動を行いました。金沢動物園では、新規で京急バス車体広告を掲出しました。

### 【主な看板類等掲出状況】

園名	掲出場所
よこはま	横浜駅(相鉄線)、鶴ヶ峰駅(相鉄線)、三ツ境駅(相鉄線)、中山駅(グリーンライン・JR)、日吉駅(グリーンライン)、新横浜(ブルーライン・ST 線)等。

野毛山	動物園通りバナーフラッグ、野毛山商店街、野毛山動物園前バス停前・野毛坂中間の三園掲示板、野毛ちかみち掲示板、ぶらり野毛山 BUS 等でのポスター掲出。野毛山商店街連携でのデジタルサイネージ放映(野毛ちかみち)等。
金沢	関東学院大学・すずらん商店街との共同バナーフラッグ(すずらん商店街)、大型看板(金沢文庫駅ホーム)、ホームベンチ看板(洋光台駅ホーム)、バナーフラッグ(ふれあい商店街)、【新規】京急バス車体広告(能見台・金沢文庫エリア7台)等。

#### (イ) 広告の出稿

イベント情報や施設情報について、効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。引き続き横浜市営バス(ぶらり野毛山 BUS)への3動物園のポスターを季節ごとに掲出するとともに、夜の動物園の実施に合わせて、東急線の駅ビジョンやみなとみらい周遊バスの車内デジタルサイネージなど複数の媒体を組み合わせた PR を実施しました。また、よこはま動物園ではおでかけサイト「いこーよ」の WEB 広告を活用し、関東エリアとファミリー層をターゲットとした誘客を図りました。

#### 【広告出稿実績】

園名	媒体名	内 容
3園	横浜市営バス	季節のイベント情報
	東急線駅ビジョン(TOQ)	よこはま夜の動物園 PR
	小田急線車内サイネージ(OTV)	よこはま夜の動物園 PR
	みなとみらい周遊バス車内サイネージ	よこはま夜の動物園 PR
	神奈中バス車内サイネージ	よこはま夜の動物園 PR
よこはま	相鉄トレインビジョン	よこはま夜の動物園 PR
よこはま	おでかけサイト「いこーよ」WEB 広告	ファミリー層をターゲットとしたイベント情報、施設紹介
金沢	タウンニュース・はまかせ新聞	暑中見舞い、正月の施設名刺広告

#### (ウ) 各種広報印刷物(ポスター、チラシ、リーフレット等)の制作、配布、掲出

3動物園ではポスター等において、FSC 認証紙やベジタブルインクなど環境に配慮して制作、掲出しました。野毛山動物園では、リニューアル工事に伴い、園内マップのデザイン更新を行いました。※実績については参考資料 P.56～P.57 を参照

#### (エ) ホームページ、SNS の活用

ホームページやブログでは、積極的に最新情報を発信し、動物園の理解促進につなげました。

SNS(Facebook、X、Instagram)、動画共有サイト(YouTube)を利用し、イベント情報や飼育動物についての情報等をタイムリーに発信し、情報の拡散につなげました。特にXにおいてキャンペーンを実施し、認知度向上と来園促進につなげました。

10月より、これまで3園合同で運用していた Instagram アカウントをズーラシアアカウントとし、野毛山動物園と金沢動物園については別アカウントを開設することで、園ごとにより広い層への情報発信に努めました。

【ホームページアクセス件数】

園名	令和6年度	前年度比
3園合計	3,978,736 件	+80,041 件

【ブログでの情報発信・閲覧件数】

		令和6年度	前年度比
3園合計	発信件数	1,055 件	+ 3件
	閲覧件数	3,231,215 件	+469,177 件

【SNS キャンペーン実績】

園名	概要
よこはま	ナイトズーラシアと連動してイベントのおすすめ情報を発信し、情報の拡散に努めました。ナイトズーラシアの来園者を対象としたアンケートの結果、約 15%の来園者が SNS の閲覧が来園のきっかけとなったと回答しています。
野毛山	世界キリンの日に合わせ 3 園で SNS リレーを実施しました。チンパンジーの子どもの成長を記載した「チンパン便」やシマウマの「しましま便」、キリンの「あみあみ便」等、シリーズ化して投稿(チンパン便:16 件、しましま便:16 件、あみあみ便:10 件等)することでフォロワーの獲得や情報の拡散に努めました。
金沢	7月にオオツノヒツジの子の愛称をXで募集したところ約 90 件の応募があり、愛称発表を動物園内でのガイド時に行ったところ、それを目的とした来園が多く見られました。2月にユアラの子の愛称をXと Web サイトでの投票で実施したところ、5万以上の投票と TV2社からの取材・放映がありました。

ウ 間接広報

(ア) プレスリリースを中心とした積極的なパブリシティ活動

積極的・効果的なプレスリリースを行い、テレビ・新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用しました。また、継続して PRTIMES の活用を始め、インターネット媒体への情報発信を増やしました。

金沢動物園では MEO 対策システム(※)を導入し、認知度の向上、誘致に努めました。

※地図検索エンジンにおいて、自社の店舗やサービスを上位表示させるためのシステム

【プレスリリース件数】

	記者発表件数(前年度比)	メディア掲載件数(前年度比)
3園合計	49 件(-18 件)	524 件(-273 件)

<反響の大きかった記事>

園名	概要
よこはま	令和6年8月、9月、11月に誕生したユーラシアカワウソ、オカピ、ホッキョクグマについてテレビや雑誌等で多く取り上げられました。
野毛山	令和6年6月に腎不全で死亡したインドライオン「ラージャー」や、令和7年1月から新たに設置したレッサーパンダ型の募金箱に対し大きな反響がありました。

金沢	令和6年6月・7月に誕生したオオツノヒツジ、スーチョワンバーラル、令和6年11月に出袋したコアラについて、記者発表などへの反響が大きく、各メディアに取り上げられました。
----	--

(イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理運営する公園やその他関係施設において配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、3園ともに、「広報よこはま」やタウン紙への情報提供を継続的に行いました。

【行政広報紙への掲載実績】

園名	概要
よこはま	広報よこはま旭区、緑区、瀬谷区、都筑区、泉区、戸塚区、神奈川区版にて情報を毎月掲載しました。新たに保土ヶ谷区版での情報提供を開始しました。
野毛山	横浜市のガーデンネックレス関連広報物に野毛山公園のバラの情報を掲載。また、リニューアルに関する配布物など横浜市へ協力しました。 タウンニュースに、ホンダタヌキ「ウタ」の赤い羽根共同募金 PR 大使就任の記事が掲載されました。
金沢	広報よこはま金沢区、戸塚区版へ情報掲載しました。タウンニュースからは取材件数も多く、頻繁に掲載されました。

エ 園外 PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等に協力することで動物園の PR を積極的にいき、来園促進に取り組みました。

【主な園外 PR・地域連携活動実績】

(ア) よこはま

実施日	連携先	取組概要・実績
(3月23日)～5月6日、 9月14日～10月14日、 3月19日～(5月6日)	里山ガーデンフェスタ	身近な野生動物に関する講座と入園料の割引により、来園促進につなげました。 里山ガーデンからの割引利用来園者：R6春 1,722名、秋：1,022名、R7春 325名
(3月1日)～4月30日	ジョイナステラス二俣川 相鉄ライフ三ツ境	「相鉄線沿線 ZOO まつり」を実施し、相互 PR や利用促進につなげました。
4月29日	四季の森まつり実行委員会	「四季の森まつり」に出展し、利用促進につなげました。
5月13日～19日	【新規】中山商店街、楽天シニア	連携デジタルスタンプラリーを実施し、相互 PR や利用促進につなげました。 参加者：209名
6月29日	【新規】無印良品	無印良品とタイアップした、動物のお面作り教室とゾウ舎バックヤード見学を行いました。参加者：20名

9月4日～9月10日	京急百貨店 上大岡店	第12回小鳥のアートフェスタ in 横浜／わくわく野鳥博においてパネル展や講演会を実施しました。
10月5日～27日、2月1日～28日	ビーンズ中山	「まちなか動物園 in 中山」を実施し、相互PRや利用促進につなげました。
12月19日～(5月11日)	JR東日本	横浜線車内ラッピング、クイズラリー等を実施し、相互PRや利用促進につなげました。
10月20日、11月3日、30日	中山商店街、旭区、緑区、港北区	区民・地域の祭りで園外PRを実施しました。

(イ)野毛山

実施日	連携先	取組概要・実績
7月20日～9月1日	神奈川県立歴史博物館 含む近隣博物館	「ミュージアムミッション 2024」を実施しました。 参加者:4,161名。
10月1日～3月31日	横浜市社会福祉協議会	共同募金PR大使に就任したホンダタスキのバッジを寄付者に配布(約400件)することにより、募金と来園促進につなげました。
10月7日	西区保険福祉課 西区ヘルスマイト 保健活動推進員	動物とふれあいながらウォーキングやスタンプラリーを行う「野毛山ウォーキングスタンプラリー」を実施しました。 参加者:20名
10月24日～12月23日	西区制80周年記念 事業実行委員会	記念事業の一つである重ね押しスタンプラリー実施に協力しました。参加者への応募プレゼントに、オリジナル商品を採用してもらい、西区HPなどでもPRを実施していただきました。
11月9日	横浜市消費生活総合センター	クイズラリーなど消費生活や計量啓発イベント実施しました。 参加者:48名
11月10日	横浜市西区役所総務課 統計選挙係	区民・地域の祭りで園外PRを実施しました。
11月6日～12月15日 11月20日(お面ワークショップ)	横浜市中央図書館	中央図書館30周年企画に協力し、親子向け企画展「すくすく育つ! どうぶつの赤ちゃん」パネル展を実施しました。関連絵本、動物園の広報印刷物を展示することで、動物の生態・飼育への興味関心を喚起しました。その中で、お面作りのワークショップを親子向けで実施し、野毛山動物園への来園を促しました。

1月26日	中区地域振興課 中区青少年指導員協議会	野毛山動物園をテーマとしたクイズを解きながら、ゴールを目指すクイズウォーク「なかっ子ウォーク in 野毛山動物園」を実施しました。参加者:300名
-------	------------------------	---

(ウ)金沢

実施日	連携先	取組概要・実績
通年 (ポスターは季節ごとに適宜交換)	ビアレ横浜	ビアレ横浜の渡り廊下に動物写真や季節のポスターを掲出し、園のPRにつなげました。
5月3日	金沢警察署	公園内にて交通安全キャンペーンを実施しました。
5月23日～6月23日	金沢図書館	「絵本の動物に会いに行こう！ #キリン」で、図書館でのパネル展(5/23～6/23)、図書館でのおはなし会(6/22)、動物園でのキリンの観察会(6/23)を実施しました。参加者:各30名
6月1日～6月16日	【新規】三井アウトレットパーク横浜ベイサイド	三井アウトレットパークの4周年イベントにて、「身近ないきものを知ろう！(昆虫と野鳥)」パネルと標本展示を実施し、夏の企画展のPRを行いました。
6月29日	【新規】無印良品	無印良品とタイアップした、動物のお面作り教室とゾウ舎バックヤード見学を行いました。参加者:20名
7月26日～8月15日	【新規】市内映画館	映像作家によるナイトかなざわプロジェクトのCMを市内映画館にてシネアド上映し、ナイト金沢のPRを行いました。
7月27日、28日	三井アウトレットパーク横浜ベイサイド	SDGs イベントに合わせて「どうぶつえんとSDGs」クイズ大会と派生物展示を実施しました。
8月10日～9月7日	学校法人トキワ松学園横浜美術大学	包括締結協定を締結している横浜美術大学のプロダクトデザインコースの学生が製作した竹灯籠をナイト金沢ZOOにて展示しました。
8月12日	ハマのJACK	ハマのJACKと連携し、音楽、映像、朗読を交えながら動物が登場する絵本の世界を表現する「どうぶつ絵本コンサート in ミズキーホール」に音楽とともに流す動物映像の提供をしました。

10月19日	金沢区役所	金沢区民まつりいきいきフェスタにブース出展しました。
10月26日	京浜急行電鉄株式会社	京急アドとタイアップして、京急キッズチャレンジ「金沢動物園長とめぐる！アフリカの動物観察ツアー」と題したスキット(寸劇)を使用した園長とのアフリカ区動物観察ツアーを開催しました。 参加者:20名
11月23日	小川クリニック	ご寄付をいただいている小川クリニックとタイアップし、親子で金沢動物園に行こう with 小川クリニックを実施、動物の赤ちゃんのおはなしとキリン舎バックヤードツアーを行いました。 参加者:107名
1月18日	横浜金沢観光協会	海の公園どんど焼きにブース出展しました。どんど焼きには金沢自然公園で間伐した竹を活用しました。
1月25日～2月24日	金沢図書館	「絵本の動物に会いに行こう！#インドゾウ」で、図書館での特別展示「インドゾウのいろいろ」(1/25～2/24)、図書館でのおはなし会(2/22)、動物園でのゾウの観察会(2/23)を実施しました。 参加者:各12名

#### オ 団体利用者等の誘致活動

学校団体の誘致や前売券契約、福利厚生団体等との契約を行い、来園促進を図りました。

##### 【学校団体入園者数状況】

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま	団体数	395	396	51	59	901
	人数	27,798	39,239	2,254	1,897	71,188
野毛山	団体数	205	178	8	5	396
	人数	15,147	14,731	308	162	30,348
金沢	団体数	198	148	30	8	384
	人数	13,025	12,557	1,259	38	26,879
計	団体数	798	722	89	72	1,681
	人数	55,970	66,527	3,821	2,097	128,415

【前売券入園数状況】

名称	割引率	実施期間	よこはま(名)	金沢(名)
オンラインチケット	なし	通年	57,588	5,568
コンビニ等	なし		3,511	
入園利用券(ホテル等)	1割引		332	—
協賛企業向け	2割引		6,678	—
計			68,109	5,568

【よこはま動物園、金沢動物園福利厚生団体誘致状況】

名称	割引率	実施期間	人数(名)
新聞社	特殊契約	通年	964
福利厚生	2割引		12,861
提携企業会員カード	2割引		117,153
計			130,978

カ 民間事業者との連携

(ア) KDDI(株)との連携(よこはま・継続)

「one zoo 公式 YouTube チャンネル」及び「au5Gチャンネル」の映像提供サービスにて動物園のPRを図りました。

(イ) 相鉄線沿線 ZOO まつり(よこはま)

よこはま動物園ズーラシア開園 25 周年を記念して、「相鉄瓦版」の発行(動物たちのしっぽのヒミツ)、「アニマルシールラリー」等を実施しました。

(ウ) 京急百貨店との連携(よこはま)

幸せを運ぶ 小鳥のアートフェスタ/わくわく野鳥博にて野鳥の保護や動物園での鳥類の調査研究について講演しました。

(エ) ららぽーと横浜(よこはま・継続)

よこはま動物園の当日入園券を提示すると、ららぽーと横浜、海老名限定お買物・お食事券 500 円分をプレゼントする企画を実施し、2店舗合計で 2,111 名の参加がありました。

(オ) 学校法人トキワ松学園 横浜美術大学(金沢・継続)

包括連携協定を締結している横浜美術大学のプロダクトデザインコースの学生が製作した竹灯籠を金沢動物園のナイト金沢 ZOO にて展示しました。(再掲)

(カ) 株式会社良品計画(無印良品)(3園・新規)

株式会社良品計画(無印良品)とタイアップし、オリジナルハンカチの販売(市内 24 店舗、3,600 枚)、動物お面作り教室とゾウ舎バックヤード見学を実施しました。

(キ) 三本珈琲株式会社(金沢・継続)

市内のコーヒー会社である三本珈琲株式会社と連携し、Zoo to wild Fes Spring にてクイズ

ラリーを実施しました。

(ク)ENECHANGE 株式会社(よこはま、金沢・継続)

お客様用駐車場に EV 用普通充電器を2台ずつ設置し、供用を継続しています。  
これにより、動物園を楽しむ間に EV 等への充電ができ、利便性が向上しています。

(ケ)ウエインズグループ(よこはま、新規)

ウエインズグループと山形大学との共同事業として、アカカワイノシシ等の糞をリサイクルして腐葉土として資源化する取組を開始しました。

(コ)株式会社バンダイ・スピリッツ(金沢・新規)

カピバラさんコラボ「フотスポット」の設置、金沢動物園マスコットキャラクター「ゆーかりん」とコラボした「カピバラさんグリーティング」の実施や、コラボデザインの年間パスポートの販売を行いました。

(サ)JR 東日本(よこはま)

JR 東日本と連携し、横浜線の子育て支援エリアを走行する1車両にラッピングを実施するとともに、クイズラリーを実施しました。

(シ)京浜急行電鉄(金沢)

京浜急行電鉄(株)と(株)京急アドエンタープライズと連携し、子どもたちに沿線の魅力を知ってもらうイベントとして、アフリカ区のバックヤードで園長がガイドするイベントを実施しました。

③ 動物園により深くかかわる利用者を増やす取組

動物園が果たすべき役割(種の保存、調査研究、環境教育、レクリエーション)を多くの方々に知っていただき、ご支援・ご協力いただけるよう取り組みました。

※寄付を活用した取組の実績は、P.23 参照

ア 潜在的寄付者を増やす取組

動物園の活動を多くの方々に知ってもらうため、SNS での情報発信、キャンペーン等の実施により認知度の向上を図り、フォロワーの獲得に努めました。また、よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポートのデザインを新しくし、リピーターの拡大に努めました。

イ 新規の寄付者を増やす取組

保全意識向上を図るプログラムの実施や、横浜市動物園友の会の運営、ボランティア活動支援(P.31)を行うことで、動物園への理解者を増やしました。

野毛山動物園では、園の管理運営の向上に活用するため園内にレッサーパンダ型募金箱やカプルルトイの設置、返礼品(一口5万円でミニレッサーパンダフィギュア)付き寄付等の新たな取り組みを実施したことで、10,330,462円(前年度比150%増)の寄付をいただくことができました。寄付金は、ペンギン展示場のリニューアルに活用しました。

**【横浜市動物園友の会 会員件数】**

会員種別	会員件数	
	令和6年度	前年度比
家族会員	155	+8
大人会員	267	+7
小人会員	8	+1
賛助会員	7	+2
計	437	+18

ウ リポートしてくれる寄付者を増やす取組

動物への愛着と動物園への理解を深められるようアニマルペアレント制度を運用しています。今年度は、今まで配架したことがない施設(市役所アトリウム、横浜市観光協会等)にチラシを置かせていただきました。各動物園ホームページからクレジットカードで寄付できるようにしており、安定的にご寄付いただいています。会員の方向けには、ニュースターの送付、動物園についての理解を深めるための「感謝の日」を実施しました。

**【アニマルペアレント寄付実績】**

園名	金額(前年度比)
よこはま	4,164,610 円(134.9%)
野毛山	2,517,200 円(104.0%)
金沢	2,290,200 円(140.0%)
計	8,972,010 円(125.6%)

**【アニマルペアレント感謝の日開催実績】**

園名	実施日	内容	参加人数
よこはま	9月 23 日	近況スライドショーとバックヤードツアーを実施。	40 名
	3月9日	近況スライドショーとバックヤードツアーを実施。	90 名
野毛山	10月5日	「アニマルペアレント Thanks ツアー」と題した園内見学とアニマルペアレント寄付金の活用実績を動画等で紹介。	20 名
	2月9日	ハズバンドリートレーニングの理念や方法を動画等で解説後、ゲーム形式の模擬体験を実施。	20 名
金沢	9月 28 日	ゾウ舎の改修報告とガイドツアーを実施。	12 名
	2月 24 日	コアラ舎改修報告とコアラの近況報告。	24 名

**【アニマルペアレント寄付 主な活用事例】**

園名	実施内容	効果
よこはま	シシオザル展示場止まり木及び小屋の更新等	老朽化した止まり木等を交換し、子の成長に伴う行動量の増加を踏まえ、より立体的な動きができるよう工夫することにより、動物本来の行動の発現を促しました。

野毛山	フンボルトペンギン展示場へハイドロポンプ2台の購入	展示場リニューアルに伴い、プール内に水流を発生させることによって本来行動の誘因及び運動量の向上を目的に設置し、フンボルトペンギンの QOL (Quality of Life) 向上に役立ちました。
金沢	コアラ用止まり木更新工事	コアラ展示場の止まり木更新工事の費用の一部として使用しました。

#### エ 企業からの支援を増やす取組

教育普及活動や広報・プロモーション活動などを支援いただく企業、団体を増やすため、営業活動を行いました。協賛企業各社からは約 2,800 万円の継続支援をいただきました。

#### 【令和6年度企業協賛実績】

園名	協賛会社名
よこはま	① ウエイズグループ
	② 三井住友海上あいおい生命(株)
	③ コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
	④ サントリービバレッジソリューション(株)
	⑤ 高梨乳業(株)
	⑥ KDDI(株)
	⑦ ジブラルタ生命保険(株)
野毛山	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

#### オ 大口寄付者(遺贈を含む)を増やす取組

寄付者の方々との関係性を深められるよう、丁寧なコミュニケーションを図り、個人の方々より寄付をいただきました。よこはま動物園では、オオアライクイの展示場の暖房小屋の設置、金沢動物園ではパルマワラビーの展示場の防鳥ネット設置などに活用しました。

### (3)利用者に関りを深めてもらう取組

利用者アンケートや広聴制度の運用を通じ、利用者の分析やニーズの把握を行い、部署間・関係事業者等との定例会議において情報共有・検討を行うことにより管理の質・来園者サービスの向上に取り組みました。また、職員のスキル向上のため、引き続きマーケティング研修を実施しました。

#### ア マーケティング調査

3動物園では、ブランディングの確立・認知と入園者数の獲得のため、令和6年度はマーケティングの基礎調査を実施し、来園者・非来園者からのブランドの認知や傾向を把握しました。今後、この基礎調査をふまえ、ブランドの確立・認知度の拡充を目的にマーケティング戦略の立案等を実施し、入園者数の底上げを目指します。

#### イ 利用者調査アンケート

3園において、11月16日～12月18日に二次元バーコードを使用した利用者調査アンケート

一トを実施し、引き続き満足度の高い結果を得られました。

【利用者調査アンケート結果による全体的な満足度】

園名	回答数	全体的な満足度について「とても満足」「やや満足」と回答された割合(前年度比)
よこはま	625 件	97.3% (97.5%)
野毛山	461 件	96.3% (99.1%)
金沢	390 件	97.1% (98.0%)

ウ お客様のご意見・ご要望を伺う制度

広聴は1年間でよこはま動物園では 81 件、野毛山動物園では 17 件、金沢動物園では1件、3動物園に対し2件のご意見・ご要望等が寄せられ、回答が必要なものに対してはすべて2週間以内に回答しました。

【広聴件数(ホームページ等による要望等)】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	ご意見・ご要望	質問・問合せ	お礼・励まし	その他
よこはま	79	2	74	0	3	0
野毛山	17	0	15	0	2	0
金沢	1	0	1	0	0	0
3動物園	2	0	2	0	0	0
計	101	2	92	0	5	31

【お礼ご意見の一例】

園名	内容
よこはま	25周年記念グッズの缶バッチの販売がとてもうれしいです！ 25周年グッズなのに開園当時からいるインドゾウの「ラスクマル」や「シュリー」がないので、第2弾、第3弾と続いたらいいなと思います。 ズーラシアには実写グッズがないのが、いつも残念に思っていたので、25周年だけでなく通年販売もご検討いただければ幸いです。
野毛山	復興半ばですが自宅の庭に来る鳥たちに心と和ます日々です。カグーへの給餌用ボールや止まり木への工夫と細やかな配慮が素晴らしく、大変感銘を受けました。
金沢	ののほな館で行われた「山の材料で作るリース作り」に参加しました。 私の作業が遅く時間オーバーとなっても作業を続けさせて下さりました。細かい部分は自宅で仕上げ、おかげさまでとても記念になる素敵な(と自分では思っております)リースを完成させることができました。 素敵な体験をさせて下さったことへの御礼と、「こんな風にできました！」と完成したリースの写真とメッセージをお送りしたく思いました。

## エ モニタリングによる自己評価とその改善

年2回横浜市職員によるモニタリングを行い、各園及び協会本部で仕様書に定められたことの進捗を自己評価するとともに、意見交換を行うことで、GW 期間中の渋滞対策や労災事故の再発防止策など業務改善につなげています。

### (ア) 来園者サービス

よこはま動物園では、新たな電子チケットの販売を開始し、公式ホームページにバナーを設置することで、チケット購入時の煩雑さを軽減し、顧客満足度の向上に努め、入園者増と入園時の混雑緩和に繋がったほか、モバイルバッテリーシェアリングサービスや駐車場料金のキャッシュレス化を開始し、利便性の向上も図りました。また、園内の飲食・物販事業者と協力してオリジナルメニューやグッズを開発するなど魅力向上に努めました。

金沢動物園では、新たに入園電子チケットを導入したほか、駐車場料金のキャッシュレス化を開始し、利便性向上、混雑緩和に繋がりました。

### (イ) 動物飼育管理

3園共に高齢個体の飼育を含む動物福祉の向上や繁殖に積極的に取り組みました。環境エンリッチメントやハズバンダリートレーニングでは、計画・評価シートを活用しました。各園の飼育繁殖技術や動物事故事例などについては研究会や研修により情報共有をしたほか、今年度より安全研修の内容の見直しや研修回数を増やし、安全対策に努めるとともに、よこはま動物園の大型危険獣5種の獣舎において、安全確認のための監視カメラの設置と扉表示板の設置を行いました。アニマルペアレント等の寄付金を使用しながら展示場の修繕等を適宜行い、飼育環境改善に努めました。獣医師についても3園で情報交換を行い、論文等で知見を広げることによって難易度の高い治療を成功させることができました。

### (ウ) 教育普及

例年実施している「国際〇〇の日」を3動物園で共通している動物種においては、同日にイベントを企画し SNS 等を通じて連携を図りました(キリン、オカピ、クロサイ等)。また、生息地で活動している外部団体との連携も行い、生息環境や現状の情報共有を通じて環境教育に取り組み、物販などの収益は、生息域内での保全活動をしている団体へ寄付しました(レッサーパンダやキリン、ゾウ等)。その他、有料大人向けプログラムとして、3動物園での連携や他園と連携した連続講座を実施し、参加者に各園への愛着を深めていただく機会を設けました。

### (エ) 人材育成

飼育管理における安全対策研修を4回実施し、安全意識の向上に努めました。

### (オ) 広報

動物園に関心がないターゲット層への新たなアプローチ方法として PRTIMES 等、インターネット媒体への情報発信を増やし、効果的に広報を行いました。

オ 各種会議での情報共有

警備、案内、飲食物販等お客様と接する機会の多い委託業者との定例打合せを通じ、課題改善、円滑な管理運営に努めました。

【課題改善の例】

園名	内容
よこはま	「国際ホッキョクグマの日」に合わせ、フォトコーナーで限定デザインキーホルダーやレストランで特別メニュー「くまさんロールケーキ」を販売しました。また、動物の写真をモチーフにした「25周年記念缶バッジ」を販売するなど、動物園のイベントと連携した取組を実施しました。
野毛山	ナイトのげやまでは、ひだまり広場にキッチンカーを導入し、収益並びにお客様の利便性向上に取り組みました。また、「世界麒麟の日」や「国際レッサーパンダデー」等に合わせた商品展開をし、園内のイベントとショップでの販売が連動することでイベント効果をより高めました。
金沢	マスコットキャラクター「ゆーかりん」誕生 15周年に合わせ、ショップで販売するオリジナルグッズとカフェで販売するメニューの開発について、職員と委託事業者との間で検討を重ね、販売を開始しました。

カ お客様からの意見、要望も取り入れた来園者サービス向上への取組

園名	サービス向上への取組	効果
よこはま	スマホ用バッテリーレンタル機(Charge SPOT)の新設	お客様から要望が多かった、スマホ用バッテリーレンタル機(Charge SPOT)を園内8箇所に設置し、お客様の利便性向上に努めました。
野毛山	ベンチと日よけの新設	ひだまり広場および管理棟入口テラスの劣化が激しい一部のベンチを更新しました。
金沢	コアラバス乗場への照明の新規設置	にこにこプラザのコアラバス乗場に照明を設置し、日没が早くて暗くなる冬季のお客様の安全性を向上しました。

(4) 動物園マネジメントの取組

① 地球環境保全等に寄与するSDGsの取組

当団体では令和3年4月に「SDGs達成に向けた取組 2021-2030」を策定し、12月には、横浜市のSDGs認証制度”Y-SDGs”において、「上位=Superior」認証を取得しました。令和4年11月には、その後の取り組み実績により、「最上位=Supreme」認証にランクアップしました。経済・社会・環境の三側面の調和や統合的な向上をめざしたSDGsの取組は以下とおりです。

## ア 環境分野

取組	主な取組
生物多様性保全への貢献	動物の飼育管理 P.36～P.51 参照
環境負荷の低減に向けた取組	動物糞有効活用事業、コーヒー滓(かす)の再利用等

## イ 社会分野

取組	主な取組
多様な教育普及	学校教育の取組 P.34～P.36、保全意識向上を図るプログラム P.41～P.49 参照
市民参加と市民協働による地域の活性化	園外 PR・地域連携活動 P.17～P.20、ボランティア活動 P.33～P.34 参照
誰も安全・安心・快適に利用できる施設の管理運営	防災訓練・動物逃亡捕獲訓練 P.10～P.11、施設等の維持管理 P.51～P.53 参照

## ウ 経済分野

取組	主な取組
地域事業者との連携による地域経済の活性化	飼料の市内業者等からの調達等

## エ ガバナンス

取組	主な取組
多様な主体とのパートナーシップによる事業推進	公民連携事業 P.21～P.22、ボランティア活動 P.33～P.34 参照

## ② 自主事業や経営改善等の取組

### ア 季節ごとに3動物園を楽しめる主な取組

イベント名	概要	実施日	参加人数
よこはま夜の動物園	園内をライトアップして夜間開園し、関連イベントを実施。	8月 土日祝	(よ)46,653 名 (野)12,214 名 (金)10,263 名
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	社会貢献活動として、障がいのある子どもたちとその家族を夜の動物園へ招待。	9月7日	(よ)2,541 名 (野)112 名 (金)450 名
3園重ね押しスタンプラリー	閑散期対策(夏)の一つとして、環境月間に合わせて、身近な野生動物をより知ってもらうためのスタンプラリーを実施。	6月30日～7月28日	3園:771 名
動物感謝祭	3園で死亡した動物の慰霊碑がある野毛山動物園で、3園の動物の誕生、長寿、死亡に関するパネル展等を実施。	9月1日～9月30日	—

動物画コンクール	3園で展示している動物を題材にした絵画の募集と展示。	募集:9月1日～9月30日 3園巡回展示:10月26日～12月1日	153名
クリスマスイベント	クリスマスの雰囲気を楽しめるよう、クリスマス装飾や関連イベントを実施。	11月27日～12月25日	—
オリジナルポスターカレンダープレゼント	3園で異なる絵柄のカレンダーを各日先着100名にプレゼント。3枚並べると1つの絵になる。	12月の土日、1月2日、3日	3,000名
お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾。	1月2日～1月8日	—

イ 各動物園の特徴、地域特性を生かした主な取組  
(ア)よこはま

イベント名	概要	実施日	参加人数
ゾーラシアガーデンパーティー	テーマに合わせた園内装飾と飲食ブースを設置したイベントを実施。	(3月23日)～4月14日の土日	入園者数: 29,489人
身近な生きもの展	ゾーラシア周辺や市内に生息する動物について学べるパネル展を実施。	5月8日～7月29日	—
村田園長とっておき写真展	園長が撮影した動物の写真展と撮影の背景となった動物の行動や生態について解説する、園長によるギャラリートークを実施。	9月4日～12月2日、ギャラリートーク11月17日	ギャラリートーク参加者91名
ゾーラシアフェス！～インドネシアに生息する動物たち～	テングザル来園15周年に因んで、インドネシアに生息する動物たちをテーマに、楽しく学べるイベントや関連雑貨の販売、日本オランウータン・リサーチセンターの久世氏による講演会を実施。	10月1日～10月30日 土日祝 全9回 講演会:10月27日	入園者数: 70,637名 講演会参加者: 90名
ゾーラシア駅伝	旭区駅伝競走大会実行委員会と共催で園内にて駅伝大会を実施。	1月25日	1,640名
水鉄砲イベント～エコレンジャーの環境保全チャレンジ 水鉄砲大作戦！～	暑さ対策として、水鉄砲を用いたイベントを実施。	9月8日	59名

## (イ)野毛山

イベント名	概要	実施日	参加人数
オリジナルこいのぼり 展示	レッサーパンダ、ペンギン等の鯉 のぼりを入園口に掲出。	4月16日～5月26日	—
集まれ！どんぐりひろ い隊	野生のツキノワグマの生態を学ん だ後、ボランティアの方々に拾っ ていただいたどんぐりをツキノワグ マに給餌しながらのガイドを実 施。	10月13日	223名
西区スタンプラリー	西区の保健活動推進委員会を中 心に動物をテーマにしたスタンプ ラリーをしながら、ウォーキングす る企画。	10月7日	223名
動物たちのお食事大 公開	普段ご覧いただけない動物たち のエサを紹介。今年はさらに、エ サを用意する様子を実演し、その 後は展示場前にて動物ガイドを 実施。	11月3日、10日、17日	450名
ツキノワグマ誕生日会	ツキノワグマの「サンペイ」と「コマ チ」の誕生日会を実施。	11月3日、10日、17日	150名
なかくっ子ウォーク in 野毛山動物園	野毛山動物園をテーマにしたクイ ズを解きながら、ウォーキングし時 間内にゴールを目指す。	1月26日	300名
キリン「そら」誕生日会	キリンの「そら」の誕生日会を実 施。	2月8日	200名

## (ウ)金沢

イベント名	概要	実施日	参加人数
春の企画展「2023年 誕生赤ちゃん紹介」	令和5年に金沢動物園で誕生し た動物の赤ちゃんを紹介したパ ネル展を開催しました。	(3月5日)～6月2日	—
タンチョウの池掃除ゲ リラガイド	飼育員がタンチョウの展示場の清 掃をしながら、展示場整備と動物 についてガイドを実施しました。	4月7日、5月5日、3月 23日	140名
横浜ホンチの実演会 ～クモのおすもう	横浜ホンチ保存会のご協力によ り、横浜市では地域無形民俗文 化財に登録されているネコハエト リを使用したクモ相撲の実演会を 開催しました。	4月21日	75名
泳げ！こいのぼり	市民からご寄付いただいた沢山 のこいのぼりを公園内に掲出しま した。	4月25日～5月6日	—

コアラおたんじょうび ガイド	コアラの誕生日にちなんだ飼育 員のガイドを実施しました。	4月 26 日	15 名
GW イベント「Save the animal～あなたの知ら ない絶滅危惧種」	絶滅危惧種をテーマに市内の環 境保全団体などと協働し、体験型 のイベント開催や展示ブースを出 展。飼育員の特別ガイドも実施し ました。	4月 27 日～5月6日	22,329 名
愛鳥週間パネル展 「飼育員が撮影した身 近な野鳥」	飼育員が撮影した身近な野鳥の 写真展を開催しました。	5月1日～7月 15 日	—
オカピおたんじょうび ガイド	オカピの誕生日にちなんだ飼育 員のガイドを実施しました。	5月7日、26 日	58 名
ヒツジの毛刈り	シェアラーを招聘し、ヒツジの毛 刈りショーを実施しました。	5月 26 日	55 名
夏の企画展「動物病 院の仕事をのぞいて みよう！」	金沢動物園の動物病院の紹介を するパネル展を開催しました。	6月4日～9月8日	—
タンチョウおたんじょう びガイド	タンチョウの誕生日にちなんだ飼 育員のガイドを実施しました。	6月9日	30 名
身近な生き物ガイド (ザリガニ調査隊)	池に住んでいる生き物を採集し、 種類ごとに分けてカウントしまし た。	6月 23 日、7月 28 日、 8月 25 日、9月 22 日、 10月 27 日、11月 24 日、12月 22 日、1月 26 日。2月 23 日、3月 23 日	243 名
七夕装飾	なかよしトンネル内に七夕装飾を 実施しました。	6月 25 日～7月7日	—
夏休み企画「涼しく一 息スライドショー」	夏の猛暑を避けるため、涼しい部 屋でゆっくりと写真を見られるスラ イドショーの放映を実施しました。	7月 20 日～8月 25 日	—
ナイトかなざわプロジ ェクションマッピング	映像作家による金沢オリジナルプ ロジェクションマッピングを投影し ました。	8月土日祝	10,263 名
秋の企画展「ご長寿 写真展」	金沢動物園の長寿動物の紹介を するパネル展を開催しました。	9月 10 日～11月 24 日	—
ハロウィン装飾	園内の動物ブロンズ像にハロウィ ンの装飾を行いました。	10月1日～31日	—
Zoo to Wild Fes Autumn～人と自然の 関わり	環境保全(人と自然の関りについ て)をテーマに、市内の環境保全 団体などと協働して、体験型のイ ベントや展示ブースを出展しまし た。	10月 12 日～14 日	10,260 名

Zoo to Wild セミナー 「ミヤコタナゴ」	野生のミヤコタナゴの研究者による講演と飼育下個体の観察会を実施した。	11月9日	26名
冬の企画展「いろいろな動物のツノを見くらべてみよう」	金沢動物園で見られるいろいろな動物のツノの紹介をするパネル展を開催しました。	11月26日～3月2日	—
動物園でお正月「へびのパネル展」	干支にちなんだ、金沢自然公園で見られるへびのパネル展を開催しました。	1月2日～1月13日	—
動物園でお正月「オオツノヒツジパネル展」	お正月にオオツノヒツジの特別パネル展を開催しました。	1月2日～1月31日	—
動物園でお正月「ゆーかりんぐリーディング」	お正月にゆーかりんぐリーディングと写真撮影を実施しました。	1月2日、3日	400名
動物園でお正月「お正月特別ガイド」	お正月に飼育員の特別ガイドを実施しました。	1月2日～5日	640名
動物園でお正月「オオツノヒツジ検定」	オオツノヒツジの野生での生態や形態についての知識を普及するパネル展とワークシートの配布。参加者にはオオツノヒツジ検定認定証をプレゼントしました。	1月2日、3日	—
動物園でお正月「かなくじ」	金沢動物園の動物たちをテーマにしたおみくじをお正月イベントとして開催しました。	1月2日～1月13日	—
春の企画展「プーズーのお引越し」	新規展示動物であるプーズーの来園の様子を紹介するパネル展を開催しました。	3月4日～(6月1日)	—
開園記念祭「ゆーかりんぐリーディング」	開園日を記念して、ゆーかりんぐリーディングと写真撮影を実施しました。	3月16日、20日、22日、23日	—
Zoo to wild Fes spring～楽しく SDGzoo®	絶滅危惧種をテーマに市内の環境保全団体などと協働し、体験型のイベント開催や展示ブースを出展しました。	3月22日、23日	5,060名

## ウ ふれあい体験

各動物園で、感染症、動物福祉に配慮しながらふれあい体験を実施しました。

園名	場所	プログラム	実施内容
よこはま	ぽかぽか広場	ひき馬体験	スタッフが引く馬に乗る体験を実施しました。
		自然体験林でひき馬体験	自然体験林をスタッフが引く馬に乗って散歩する体験を実施しました。
		馬の飼育員になってみよう	馬房の清掃やブラシがけ等の飼育体験を実施しました。
		えさやり体験	馬に餌をあげる体験を非接触の方法で実施しました。
		モルモット・ネズミのおうち	事前予約制により参加人数とふれあう動物を限定し、動物福祉に配慮しながらのふれあいを実施しました。
野毛山	なかよし広場	モルモット、ハツカネズミ等とのふれあい	令和6年度は、横浜市によるなかよし広場を含むリニューアル先行工事实施の為、ふれあいは実施せず。工事期間中は、猛獣舎・夜行獣舎等で展示しました。
金沢	ほのぼの広場	ヤギさんのおやつタイム	開園日毎日、ヤギとヒツジの餌やり体験を実施しました。

## エ ボランティア活動

ボランティア活動も活発に行われました。

(活動人数:よこはま5団体 187 人、野毛山4団体 68 人、金沢5団体 120 人)

園名	主な取組
よこはま	動物の展示場前での通常ガイドやナイトズーラシアでのガイドのほか、工作や紙芝居等のワークショップを実施しました(ズーラシアサポーターズ 31 名)。また、ドリームナイト・アット・ザ・ズーにおいて案内補助等を実施しました(ジブラルタ生命保険株式会社 40 名、旭陵高校9名)。 園内の花苗植えつけやチンパンジーのハンモックづくり、園内バスルートの看板づくりを実施しました。(三井住友海上あいおい生命保険株式会社 103 名)
野毛山	通常ガイドのほか、新たに毛皮などの派生物を使用したガイドを始めました。「ナイトのげやま」や「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」でのガイド、動物たちの SOS 展でのブース出店、国際レッサーパンダデーでのアンケート調査などに参加しました。(Zoo のげやま探検隊 14 名) また、「集まれどんぐりひろい隊」と題したイベントでのワークショップなどを実施しました。(Zoo&Aquarium Creators 3 名、早稲田大学学生 NPO サークル環境ロドリゲス 14 名) また、「動物たちの SOS 展」でのガイドなどを実施しました。(野生動物リハビリーター 37 名)

金沢	<p>毎週日曜日ツノ・キバガイドを実施しました。(ZOO ボランティア 15 名)</p> <p>ドリームナイト・アット・ザ・ズーにおいては、オカピクイズ、紙芝居、クイズ大会、バルーンアートプレゼント、ツノ・キバガイドを実施しました。(帝京科学大学動物園研究部 38 名、日本大学くらしの生物学科 50 名、ZOO ボランティア)</p> <p>植物区エリアでの樹林地・竹林等の管理補助を実施しました。(かなざわ森沢山の会 50 名)</p> <p>また、傷病鳥獣保護事業の補助を行いました。(野生動物リハビリテーター10 名)</p>
----	--

## オ 経営改善の取組

事業資金の調達では、アニマルペアレント等による外部資金の獲得に取り組みました(P.23～24 参照)。また、横浜市健康福祉局による認証制度「横浜健康経営認証」の取得団体として、健康講習会の実施など職員の健康保持・増進に積極的に取り組みました。(P.9～10 参照)ブランディングのためのマーケティングに関する基礎調査を実施しました。

## (5) 学校教育プログラム

よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。コロナ対応として、引き続きオンラインでの対応や DVD の貸出しも継続しました。※それぞれのプログラムの実績については、参考資料 P.61～63 参照

### ① 学校教育向けプログラム(3園)

#### ア 来園プログラム

20 種のプログラムを実施し、3園で 18,426 名(前年度比+5,753 名)の参加がありました。

#### 【主な来園プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま 6,109 名	「動物福祉の取組み」の講義スライド内に環境エンリッチメントに関する動画を組み込むことや「どうぶつの赤ちゃん」で使用するスライドを最新の内容にしました。	アンケート結果からは、動画にしたことで理解度が促進されたことが読み取れました。
野毛山 1,785 名	飼育員の一日で使用するパネルの枚数を増やし、最新の内容にするとともに、詳細をわかりやすく説明できるようにしました。 来園での動物の赤ちゃん需要増に際し、出張プログラムの内容に合わせ、パネルや標本を用意し対応しました。	以前に比べ反応も良く、実施時に子どもたち自らが思ったこと、気づいたことを言葉にする機会が増えました。
金沢 10,532 名	どうぶつえんレクチャー「動物のほねときん肉」で、要望の多かったハンズオン標本の補強として人体骨格標本模型を追加しました。	学習の中で要望の多かった、ハンズオン標本(人体全身骨格模型)をプログラムで使用する派生物に追加し、インタラクティブな教材を増やすことで、より主体的な学習を引き出しました。

## イ 出張プログラム

5種のプログラムを実施し、3園で8,707名(前年度比-1,015名)の参加がありました。

### 【主な出張プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま 2,869名	「どうぶつの赤ちゃん」「飼育員の一日」など、出張に行く職員自らの担当動物にアレンジした内容で実施。	出張に行く職員の担当動物を含めることで、より分かりやすく、深い内容となったことが見受けられた。
野毛山 3,333名	昨年使用した動物の赤ちゃんと児童の大きさを比べる標本や等身大の写真などのツールを効果的に使用するために、教員との打合せを重視しました。	教員に体験補助をお願いし、余裕をもってスムーズに体験実施することができました。児童からは体験を行っての具体的な感想が増えました。
金沢 2,505名	県立金沢支援学校小学部の肢体不自由児のクラスの校外学習の事前学習として、出張プログラムを実施しました。	肢体不自由児のクラスの校外学習で当日実際に見学するルートに合わせた展示動物にスポットを当てた事前学習を出張どうぶつえんスクール「動物たちにズームイン」に盛り込んで実施することにより、動物の観察のポイントなどを重点的に指導することができました。

## ② 先生方と内容を相談しながら作り上げるプログラム

学校等と連携し、3園で3,191名(前年度比-909名)の参加がありました。

### 【主な連携授業への効果】

園名	実施内容	効果
よこはま 424名	近隣の川井小学校と動物の形態と役割について、事前学習と事後学習を組み合わせたプログラムを実施しました。また、旭陵高校とは、講義や観察、園内発表を組み合わせたプログラムを実施しました。	事前と事後学習によって、より動物種ごとの特性の理解と環境とのかかわりを捉えて考えてもらうことができました(川井小)。また、講義や観察学習などで自らが学んだことを発表することで、動物園や野生動物への理解を深めてもらうことができました(旭陵高校)。
野毛山 1,036名	本町小学校2年生と戸部小学校3年生との連携では、それぞれ野毛山動物園の動物についての見どころを制作物にし、児童が来園者に発表をしました。 横浜国立大学教育学部附属横浜小学校の4年生と絶滅危惧種について授業を進めました。 5年生国語単元「固有種が教えてくれること」から児童が外来生物に興味を持ったという事で西前小学校へ出張授業をしました。	本町小学校は、児童が制作物を使って来園者に向けて発表しました、戸部小学校では制作物をデジタル化し、園内に掲出した掲示物に二次元コードを記載して、読み取れるようにしました。 横浜国立大学教育学部附属横浜小学校では年間を通したプログラムを行い、普及についての考えをまとめ、園内イベント「動物たちのSOS展」で児童が発表しました。 西前小学校では、外来生物について考えるきっかけを作り、外来生物は悪者の概念を払拭することで、より生態系や自分たちにできること

		への考えを深めることができましたと感想をいただきました。
金沢 1,731名	遠方の小学校の校外学習での来園に合わせ、DVD 貸出、オンライン、来園時のワークシート学習を兼備した連携授業を実施しました。	総合的な学習の時間で「絶滅危惧種の現状と動物園の役割」を学ぶ大和市立の小学校5年生との連携授業として、遠方のため複数回の来園が難しい中で、DVD 貸出やオンラインでの質疑応答、来園時にはワークシートを活用して多様な学習を展開することができました。

③ 小動物ふれあいプログラム(野毛山)

野毛山動物園の小動物ふれあいプログラムは、リニューアル工事に伴い中止。

4 動物の飼育管理

(1) 飼育現場での取組

世界の野生動物の現状への理解を深めてもらえるよう、動物の生態や健康維持、動物福祉(アニマルウェルフェア)に配慮した飼育管理に取り組むほか、飼育動物の記録や飼料の調達、給餌等を行いました。飼料となる青草、ユウカリなどの栽培・生産については、市内生産農家等に依頼し、安定的な供給の確保を図るとともに、地域の活性化に取り組みました。

① 動物福祉(生活の質)向上のための取組

3園で飼育する動物に対して、科学的な根拠に基づき、3園における良好な動物福祉を高める取組を推進しました。また、動物福祉への職員の理解を深めるため、Wild Welfare が主催するオンラインセミナーを動物職員全員が受講しました。

ア エンリッチメントの取組

飼育動物の多様な行動を引き出す飼育環境改善(エンリッチメント)の取組にあたっては、計画シートを作成し、効果検証を行い、動物福祉の向上に努めました。

【主なエンリッチメントの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	ハイロコクジャク展示開始に伴う環境整備	キジ類の展示をしていなかった施設での新規導入による展示開始に伴い、餌台や暖房小屋、砂浴び場、止まり木などの設置や落ち葉の敷設などの生態に合わせた環境整備を行い、健康の維持管理だけでなく、動物本来の行動を引き出した展示が行えています。
野毛山	キリン・チンパンジー・ツキノワグマ等の展示場及び寝室へ、フィーダーや消防ホース・ハンモック等の更なる設置。	展示場や寝室が狭いながらも空間利用できる範囲が拡充した事に伴い、行動範囲が広がったと共に、動物本来の行動を誘引することが出来ました。
金沢	インドゾウの展示場に展開式の日よけを設置	夏季には日陰は日なたと比べて温度が10度ほど低くなり、ゾウが好んで日陰を利用していました。

イ ハズバンドリートレーニング(受診動作訓練)の取組

無麻酔での採血等、動物福祉に配慮した健康管理(ハズバンドリートレーニング)の取組にあたっては、計画シートを作成し、効果検証を行い、良好な動物福祉を高めていきました。

【主なトレーニングの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	クロサイに対し、無保定下で採血できるようトレーニングを行いました。	定期採血が可能となり、性ホルモン動態の把握、それに基づいた同居の実践を実践できるようになりました。
野毛山	キリンでは血圧測定、レントゲン等のトレーニング、グレビーシマウマではターゲットトレーニング、チンパンジーでは採血を目的とした針当てのトレーニング等を実施しました。	キリンのオスでは血圧測定、レントゲン(左右前肢:側面からの撮影、球節にカセットを当てる)、メスでは足上げ(右前肢の前膝に手を添えて上げる)が出来るようになった他、グレビーシマウマでは繁殖した個体で柵越しの横向き誘導、メスで両側からの聴診器による聴診が出来るようになりました。チンパンジーでは採血を目的としたトレーニングで注射時での姿勢保持、上腕部への押し当てが可能となりました。
金沢	ゾウの準間接飼育用に改修した柵を介した状態でも体のケアが行えるように、各種トレーニングを実施しました。	メスに対する将来的な投薬を想定した肛門へのアプローチや、雄の足からの採血に成功しました。

ウ 老齢個体に配慮した飼育管理の取組

老齢個体の飼育管理については、動物の QOL(Quality of life:生活の質、その動物種らしく、肉体的・精神的・社会的な日常生活を含めたものの充実度や満足感)の向上を第一に考え取り組みました。

【主な老齢個体に配慮した取組】

園名	取組概要
よこはま	高齢のアカアシドゥクラングールに対し、後肢麻痺により移動が困難となったため、低い寝台やクッション等を設置、暖房をあたりやすい位置に増設する等、対応しました。
野毛山	ホンドタヌキの展示場と寝室間の段差を解消するため、おが粉を敷設し寝室と展示場間の移動を容易にしたことで、自主的な往来が増加し、QOLの向上につながりました。 足腰の老化が進行中であったツキノワグマに、寄付していただいたグルコサミンサプリメントを給与することで進行の鈍化ができました。
金沢	高齢のオカピにおいて、消化管の働きが鈍りガスが溜まりやすくなっていますが、担当者及び獣医がマッサージでのガス抜きを行えるよう体制を整え、日ごとの体調に応じた対応をすることで小康状態を維持しています。

② 飼育現場での努力や意識向上に資する取組

ア 動物舎の維持管理

動物舎及び展示場の管理は、日常的に施設の安全点検を行い、小破修繕を適宜実施しました。また、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一基準で管理し、市に報告することで大規模修繕計画にも反映させました。

【主な展示の魅力向上】

園名	概要	効果
よこはま	ウンピョウ展示場の小屋の更新	従前の小屋の形状に見づらくなってしまう等の課題があったことを踏まえ、形状を改良した新たな小屋に更新しました。
	ホッキョクグマの展示の工夫	繁殖期間の飼育個体への配慮を目的とした観覧デッキ封鎖を行っていた間、デッキ階段脇に親子の様子を紹介するパネルを設置し、順調に成育する様子を紹介しました。
野毛山	空き小間となった小獣舎展示場内をミニコアリクイ展示用に自家改修	コアリクイ舎は寝室が2部屋しかないため、次の繁殖を見据え、雌雄同居を可能にする為、空き小間となっている小獣舎展示場を改修し、1頭を移動させることで展示と繁殖を同時に進行できるようにしました。
	モルモットとハツカネズミ・カグーを夜行獣舎・猛獣舎で一時的に展示	リニューアル先行工事の関係でふれあい休止及び非展示となっていた期間中、猛獣舎と夜行獣舎の小間を利活用し展示を継続しました。
	夜行獣舎の利活用	夜行獣舎を改修し、新規導入したオーストラリアガマクチヨタカを展示しました。
	バードケージの利活用	リニューアル計画に基づき、飼育鳥の搬出に伴う空き小間を利活用し、非公開となっていた育雛舎で飼育していたインドクジャクのオス個体を繁殖期に合わせて展示し、上尾筒を広げる姿を見ていただきました。
金沢	コアラの止まり木更新	止まり木更新の際に以前よりコアラが近くで見えるように枝の配置を工夫しました。
	プーズーの展示開始	カピバラのサブパドックだった場所を修繕しプーズーの展示を開始しました。

イ 動物園水族館事業、博物館事業への貢献

世界動物園水族館協会(WAZA)、日動水、神奈川県博物館協会の加盟団体として、当該団体の役割の一翼を担うことで、国内外における動物園水族館事業、博物館事業の推進に貢献しました。また、引き続きよこはま動物園長が日動水の会長に就任しています。

### 【各団体での役割一覧】

団体	役割	
WAZA	倫理動物福祉委員会 委員	
日動水	会長	
	総務委員会	倫理福祉部員
	教育普及委員会	普及啓発部員
	生物多様性委員会	類別事業調整者、種別計画管理者等、専門技術員等
神奈川県博物館協会	理事	
	自然科学部会	幹事

### ウ SDGsへの貢献

環境負荷の低減に向けた取組として、動物の飼育管理を通じた SDGsへの貢献を進めました。

### 【動物の飼育管理を通じた SDGsへの取組】

園名	取組概要
3動物園	B級品の青果や園内で発生した剪定枝を飼料に活用しました。
よこはま	園内の樹木を台切りし、萌芽更新を図るとともに、伐採された枝や新芽の一部を動物の餌に活用しました。
野毛山	園内の SDGsのイベントと連動して野毛山公園のどんぐり拾いをするボランティアを募集し、拾ったどんぐりをツキノワグマへの餌として活用すると共に、展示場前で職員等による寸劇でツキノワグマの現状を啓蒙・普及しました。
金沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒー滓(かす)をゾウなどの床材に利用しました。</li> <li>・ゾウ糞及びコーヒー滓(かす)の床材をたい肥化し、園内、市内公園ユーカリ圃場、木の葉搬入業者が管理する苗木圃場で活用しました。</li> </ul>

### エ 職員の努力

動物園の役割を果たすため、職員一人一人が各種の工夫・努力を行いました。

### 【職員が取り組んだ主な努力】

園名	取組概要
よこはま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各動物種の「〇〇の日」に合わせ、関心を深めていただくためのイベントを企画・実施するなか、ホッキョクグマ、チーター、キリン等では、生息地の保全への貢献につながるような工夫に取り組みました。</li> <li>・飼育作業における安全対策として新たにルール化した「閉扉・施錠時の指差喚呼」「動物の小間移動の際の無線連絡」等について徹底し励行しました。</li> </ul>
野毛山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非展示になっているモルモットを、展示場や寝室内を動物福祉に配慮しつつ職員が空き小間を自家改修で改良を重ねて、展示をしました。</li> <li>・リニューアル先行工事で非展示となった種の近況等について SNS 等で発信しました。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界キリンの日、国際レッサーパンダデー等に合わせ、当該種の生息域内で保全活動する団体と連携し、現状を普及するガイドや募金を実施、集まった募金を保全団体に寄付し、生息域内活動への貢献を継続しています。</li> <li>・学校連携として戸部小学校、地域連携として中央図書館と協働し、児童が制作した野毛山動物園図鑑を図書館内に掲示しました。また、その成果を動物園の成果物として発表しました。</li> </ul>
金沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の野生動植物や林地環境の保全を行うとともに、それらの普及活動や体験イベント等のほか社内外の研修会での講師活動などを実施しました。</li> <li>・インドゾウの準間接飼育移行において、今年度は1度も直接飼育をせずに管理することができました。</li> <li>・オオツノヒツジやカンガルー、コアラの繁殖仔などについて情報発信を行いました。特にコアラは施設工事による展示休止中に出袋する個体が出たため工事中でもQOLが維持できるよう、仮獣舎となる施設の整備を入念に行い、無事に工事完了後に展示再開でき、更にSNSの投稿に対して多くの反響があり、雑誌やテレビに取り上げられました。</li> </ul>

### ③ 計画的な繁殖管理

動物飼育計画の立案にあたっては、動物の生態を踏まえ、当団体に蓄積された記録を参照した上で計画を立案しました。また、重点保全種に指定されている種については、収集計画を含む繁殖計画を立案しました。繁殖に取り組む準備を進める種については、国内外からの情報収集等に取り組み、海外との連携強化に努めました。

【主な繁殖動物】※は重点保全種

よこはま		野毛山		金沢	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
ニホンザル	2	フサオマキザル	2	スーチョワンバーラル	2
オカピ※	1	ルリゴシボタンインコ	4	アマミトゲネズミ※	7
ユーラシアカワウソ※	4	ミヤコカナヘビ※	41	ムカシツチガエル※	573
ホッキョクグマ※	1	ミヤコタナゴ※	23	ミヤコタナゴ※	72
ベトナムキジ	5			ホトケドジョウ※	108
オウギバト	2			オオツノヒツジ	1
				オオカンガルー	1
6種 15点		4種 70点		7種 764点	

### ④ 動物の適切な管理

#### ア 防疫・衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察及び専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見早期治療による健康管理を行いました。治療にあたっては、最先端の獣医療を提供するオンデマンドサービスを活用することで、日々の外科的な処置等に役立てました。防疫面でも引き続き、コロナ、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱の感染防止に努めました。

【主な症例への対応】

園名	概要	効果
よこはま	ゴールドエンターキンの麻酔下削蹄	大型動物用人工呼吸器付麻酔器を活用することで、症例の少ないゴールドエンターキンの麻酔処置を安全に行いました。
野毛山	アカエリマキキツネザルに見られた鉄過剰症の改善	飼料内容の見直し及び改善をすることで鉄過剰症の緩和ができていないか、血液生化学的モニタリングを実施。
金沢	オオツノヒツジの早期妊娠鑑定	昨年度使用したものは別の牛用妊娠検査キットを活用し、より精度の高い早期妊娠鑑定を実施しました。また、交尾日が定まらない妊娠個体について、X線撮影画像を活用し、おおよその妊娠週数を予測することで、出産予定日を予想することができました。

イ 3園一体運営を活かした飼育管理

よこはま動物園でのツシマヤマネコの人工授精、オカピの麻酔下での削蹄等、3動物園の獣医師の協力のもと実施し技術共有につなげました。また、高病原性鳥インフルエンザ発生の際には、よこはま動物園から金沢動物園へカモメ類を移動させ、防疫体制を整えました。インドゾウを飼育しているよこはま動物園と金沢動物園の2園館では、飼育管理および設備改修について定例会議を行い、情報共有に努めました。野毛山動物園では、リニューアル先行工事が終了するまでの間、よこはま動物園で工事エリアの動物を飼育し、工事終了に合わせて野毛山動物園へ移動させました。

(2) 保全に貢献する取組

① 世界的に評価されうるといえる域外保全への取組

よこはま動物園では、令和3年3月にツシマヤマネコの人工授精による繁殖に国内ではじめて成功し、ツシマヤマネコの域外保全の取組を前進させることを目的に、今年度も引き続き人工授精に挑戦しました。

② 日動水等、国内外の保全に関わる機関、団体等と連携した保全への取組

当団体が多くの実績や技術を有する種については、率先して国内外の動物園関係団体との連携を図り、保全活動に努めました。また、日動水内の生物多様性委員会他の役割を担うことで、国内での保護・繁殖に積極的に携わりました。

【役割一覧】

	役割	動物種等	
国内	生物多様性委員会 日動水	類別調整者	食肉類(副類別調整者)
		種別計画管理者	ユーラシアカワウソ、インドサイ、ブラジルバク、ホウシャガメ
		個体群管理者	オオカンガルー、ヤブイヌ、アラビアオリックス、ベアードバク、ハミルトンガメ、インドセタカガメ
		専門技術員	コアラ、フランソワルトン、スマトラトラ、ツシマヤマネコ、アジアゾウ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、コツメカワウソ、マレーバク、テナガザル類、アマミトゲネズミ

国外	国際ワーキンググループ* 参加	ヘサキリクガメ
----	--------------------	---------

\*主要な国際保全組織に所属するカメの専門家が結成する組織横断的なグループ。

CITES(ワシントン条約)やCBS(生物多様性保全)等に助言や勧告を行う。

また、連携協定等を締結した海外の地域団体や動物園と情報交換等を進めました。インドネシアとの保護協定に基づき、テングザルの飼育報告書の提出や繁殖のための継続的な調整を毎年実施している他、生息域外保全施設として動物福祉に配慮しながら調整を進めています。

項目	主な取組
台北市立動物園との連携	覚書に基づき、希少リクガメの動物交換等の調整を行いました。
世界動物園水族館協会(WAZA)との連携	WAZAの会員として、年次総会(タロンガ動物園)へ参加して情報共有などに努めたほか、WAZAの管理する保全計画である種管理計画に協力して、野生動物保全に努めました。
東南アジア動物園水族館協会(SEAZA)との連携	年次総会(台北市立動物園)へ参加し、動物園での繁殖やエンリッチメント、動物福祉の取組について情報交換をしました。

### ③ 域内保全と連携した取組

日動水が環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、ツシマヤマネコ、ミヤコカナヘビ、トゲネズミ類、ニホンライチョウの飼育・繁殖技術の確立を目指し、動物園での保全活動を行いました。

#### 【域内保全と連携した主な取組】

項目	動物種	主な取組
環境省の保護増殖事業への協力	ツシマヤマネコ (よこはま)	人工繁殖に取り組むとともに、繁殖生理に関するデータ収集を行いました。
	ニホンライチョウ 人工授精(よこはま)、展示(金沢)	繁殖センターと連携し、近似種のスパールバルライチョウの展示を通じて教育普及に貢献しました。また、ニホンライチョウの人工授精に取り組み、金沢動物園へ新たな個体を他園より導入しました。
	ミヤコカナヘビ (野毛山)	飼育下繁殖技術の向上及び獣医学的・科学的知見の集積へ協力しました。
トゲネズミ類 生息域外保全事業への協力	アマミトゲネズミ (金沢)	飼育下繁殖技術確立に取り組むとともに、展示の開始に向けた準備を整えました。
身近な野生動物の保全	ミゾゴイ(野毛山、金沢)	繁殖センターと連携し、野生復帰を想定した技術確立のため試験放鳥を行いました(金沢)。展示を通じて教育普及を行いました(野毛山)。

	ミヤコタナゴ(野毛山、金沢)	横浜市教育委員会が主導するミヤコタナゴ保護育成検討会及び関係機関と連携し保全活動に取り組みました。
	ミナメダカ(横浜産) (野毛山、金沢)	飼育下繁殖に加え、ビオトープを整備し野外環境での飼育に取り組みました(金沢)。
	ムカシツチガエル(金沢)	繁殖センターと連携して繁殖に取り組みました。
	ヤマアカガエル等(よこはま、金沢)	よこはま・金沢での生息調査を実施しました。
域内保全活動事業	オカピ(よこはま、金沢)	現地で活動するオカピ保全プロジェクトへ支援金を送付すると共に、世界オカピの日に合わせた普及活動に取り組みました。
	ホッキョクグマ(よこはま)	国際ホッキョクグマの日に合わせた普及活動に取り組むとともに、普及活動の一環で取り組んだイベントでの収益の一部を現地で活動する Polar Bear International へ支援金を送付しました。
インドネシア政府との保護協定	テングザル(よこはま)	飼育委任(2年)延長について協議を開始し、原契約の更新についても調整を継続しました。
希少植物の保全	エビネ等(金沢)	下草や倒木を片付け生育環境を整備しました。

#### ④ 傷病鳥獣の受入、治療、および野生復帰

ケガや病気により救護された野生鳥獣(鳥類・哺乳類)を治療し、野生に戻す取組を行いました。鳥インフルエンザ防疫対応以前までは、例年通り、巣立ち雛の誤認保護が多く、冬季では、成獣タヌキの疥癬症の保護が多い傾向が見られました。

※鳥インフルエンザ防疫対応のため令和6年10月5日から傷病鳥の受け入れを中止しました。(令和7年3月31日時点で対応受け入れ中止継続)

#### 【傷病鳥獣保護点数】

園名	点数	
	令和6年度	前年度比
よこはま	140点	+23点
野毛山	69点	-21点
金沢	118点	-21点
計	327点	-19点

#### ⑤ 保全のための人材育成に向けた取組

##### ア 職員の育成

職員の保全意識向上を図るため、野生動物保護研修やよこはま動物園園長による動物園学習、SDGs研修等を実施しました。

イ お客様の保全意識向上に向けた取組

講演会やセミナー、パネル展示を実施するとともに、一部のものは、その効果についてもアンケート等を行うことで評価しました。

### 【主な取組と評価】

#### (ア) 複数園

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
飼育の日	4月19日(シイク)に合わせ、飼育係の仕事についてパネル展を通じて紹介し、動物園への理解を深める普及活動を実施しました。 さらに理解を深めてもらえるよう、実際に使用している道具をひだまり広場にて展示しました。(野毛山)	よ:(3月13日)~5月6日 野:(3月26日)~4月29日 金:4月9日~29日	—
世界キリンの日(よこはま、野毛山、金沢)	世界キリンの日にちなみ、3園で飼育しているキリン及び保全について理解を深めてもらえるよう、特別講演会、パネル展、SNSリレー等を実施しました。 また、新しい取り組みとして、物販による売上金の一部をキリン保全財団(Giraffe Conservation Foundation:GCF)へ寄付し生息域内保全に貢献しました。	よ:6月1日~6月30日、 野:6月14日~7月15日、 金:6月1日~30日	講演会: (よ)84名 ワークショップ: (よ)150名 ガイド (野)37名 (金)63名
夏休み宿題教室(よこはま、野毛山、金沢)	夏休みの小学生の自由研究応援として、動物園の動物や身近な生き物について学んだり、採血等の獣医の仕事について、体験を実施しました。	よ:7月21、22日、 野:8月6日、 金:7月27日	(よ)61名 (野)10名 (金)8名
世界ゾウの日特別イベント「ゾウ大使になろう」(よこはま、金沢)「エレファントナイト」(金沢)	よこはま動物園と連携し、世界ゾウの日にちなみ、小学生を対象としたインドゾウについてのレクチャーとワークショップを実施しました。 参加者は、ゲームを通してゾウの生態や脅威を実感できていました。 金沢で実施した「エレファントナイト」では、ゾウの保全団体と連携し、ナイト金沢実施時に合わせてブース出展等を実施しました。	ゾウ大使(金)中止(よ)8月24日 エレファントナイト(金)8月10日、11日	ゾウ大使: (よ)12名 エレファントナイト: (金)3,001名
【拡充】国際レッサーパンダデー企画(よこはま、野毛山)	国際レッサーパンダの日にちなみ、パネル展、動画放映及び特別ガイド、ワークショップを実施しました。また、園内ショップ等と連携したグッズを販売しました。(よこはま) パネル展(1か月間)、特別ガイド等を実施しました。来園者の保全活動の一環として、野生のレッサーパンダの保全活動を行う団体「レッドパンダネ	9月3日~10月22日	ガイド: (よ)100名 (野)220名 ワークショップ: (よ)29名 講演会: (野)47名

	ットワーク」への募金を実施し、域内保全への参加を呼びかけました。(野毛山) また、今年は2園の連携企画として、飼育しているレッサーパンダを紹介する講演会や SNS 投稿を行いました。		
世界オカピの日 (よこはま、金沢)	飼育員の特別ガイドの実施と、Okapi Conservation Project(OCP)の活動内容紹介パネルの展示、ワークショップ、アフリカ楽器の演奏、アフリカ雑貨の販売などを実施し、売上の一部をOCPに寄付することで、現地支援に貢献しました。(よこはま、金沢)	10月12～14日(よ)	ガイド: (よ)390名 (金)208名 ワークショップ・ 楽器演奏: (よ)790名
魅力発見！横浜3動物園めぐり	横浜の3動物園を巡回する、横浜の動物園の歴史、動物福祉や保全の取り組みを紹介する、大人向けの連続講座を実施しました。	9月22日、10月27日、11月24日	延べ60名 (よ)20名 (野)20名 (金)20名
飼育体験(よこはま、野毛山、金沢)	動物園の業務体験を通して、動物園の社会的役割を学んでもらう体験学習を実施しました。よこはま、野毛山は、大人の部と子どもの部を設け、金沢は年齢を問わないペアでの参加としました。	よ:6月1、2、8、9日 7月12、13日 野:10月6、12、14日 11月17、23日 金:11月3日、4日	(よ)154名 (野)48名 (金)40名
公開飼育研究会	3園と横浜市繁殖センターで行っている調査研究の成果について、各施設1題ずつ発表しました。	1月18日	32名

(イ)よこはま

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
ズーラシアスクール	小学高学年を対象に、連続講座を通して、動物や人、環境について考える総合力を養うことを目的とした企画を実施しました。 半年間、毎回テーマを変えて、動物だけでなく環境についても深く学ぶことができました。	9月～3月 毎月1回実施	25名
世界バクの日	世界バクの日になみ、マレーバクの特別ガイドを実施しました。	4月27日	50名
身近な生きもの展	ズーラシア周辺や市内に生息する動物について学べる企画展を実施しました。	5月8日～7月29日	—

世界キノボリカンガルーの日	世界キノボリカンガルーの日にちなみ、パネル展、特別ガイド、ワークショップ及び物販販売を実施しました。	5月8日～6月3日	ガイド： 100名 ワークショップ： 109名
世界カワウソの日	世界カワウソの日にちなみ、ユーラシアカワウソのパネル展、特別ガイド、ワークショップ及び物販販売を実施しました。また、売り上げの一部を International Otter Survival Fund へ寄付しました。	5月22日～6月3日	ガイド： 130名
世界ドールの日	世界ドールの日にちなみ、パネル展やワークショップ等を実施しました。	5月22日～6月3日	60名
生き物 SOS 展	世界の野生動物や身近な生物の現状を伝える企画展を実施しました。	6月5日～9月2日	—
ラクダ科国際年特別パネル展	「ラクダ科国際年」にちなんで、ラクダについて学べる特別パネル展を実施しました。	6月22日～12月28日	—
世界トラの日	世界トラの日にちなみ、スマトラトラのパネル展及び特別ガイドを実施しました。	7月20日～29日	340名
テングザルの日	10月9日をテングザルの日とし、テングザルについて学べるパネル展、ワークショップ及び特別ガイドを実施しました。	10月1日～10月28日	ガイド： 70名 ワークショップ： 9名
ヤマネコの日	ヤマネコの日にならみ、ツシマヤマネコのパネル展を実施しました。	10月1日～11月4日	—
世界サイの日	ライノデー(世界サイの日)にちなんで、野生のサイの保全活動を紹介するパネル展及びガイドを実施しました。	9月7日～10月31日	ガイド： 40名
国際チーターの日	国際チーターの日にちなみ、パネル展、ワークショップ、チャリティーグッズ販売、講演会を実施しました。また、売り上げの一部を Cheetah Conservation Fund へ寄付しました。	11月29日～12月28日	ガイド： 120名 ワークショップ： 80名 講演会： 35名
国際ホッキョクグマの日	国際ホッキョクグマの日にちなみ、パネル展、ワークショップ、チャリティーグッズ販売、野生ホッキョクグマの写真家である丹葉氏による講演会、講演会及び国内ホッキョクグマ飼育4園をオンラインでつないだクロストークを実施しました。また、売り上げの一部を Polar Bears International へ寄付しました。	2月13日～3月3日	ワークショップ： 600名 講演会： 120名

## (ウ) 野毛山

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
世界渡り鳥の日	世界渡り鳥の日にちなみ、野鳥の現状や日本で見られる渡り鳥や留鳥などを紹介するパネル展実施しました。	5月9日～6月10日	—
野毛山動物園セミナー2024「ミヤコカナヘビことはじめ」	動物園の役割のひとつである「調査・研究」に焦点を当てた「動物園セミナー」を実施しました。今年度は、当園で新たに飼育展示が開始された絶滅危惧種であるミヤコカナヘビにスポットを当て、担当飼育員がミヤコカナヘビの導入から展示までの様子を発表しました。また自然環境研究センターの高橋氏による生息地での保全活動について講演いただきました。	12月15日	28名
国際シマウマの日	野生のシマウマの現状や生態などについて紹介するパネルを展示し、誕生した子どもの「リアン」の成長をパネルや動画で紹介すると共に、ガイドを実施しました。	1月28日～3月2日	ガイド： 60名
第20回動物たちのSOS展～守ろう生物多様性～	「生息地での野生動物の現状」、「ペットや製品として消費される野生動物」など動物園の動物たちが絶滅の危機に瀕している事実を広く知ってもらうこと、野生動物との関わり方、生物多様性の大切さを伝える企画を外部機関と協働で実施しました。また、連携授業として実施した横浜国立大学教育学部附属横浜小学校 4年3組の取組を紹介するブースを出展しました。野生動物の現状を伝えるパネル展示と園内を回りながら野生動物の現状を学べるスタンプ&ミッションラリー(参加費:100円)を実施しました。	3月1日～31日	スタンプ&ミッションラリー： 500名

## (エ) 金沢

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
企画展「高橋広平写真展 雷鳥～四季を纏う神の鳥～あるつがいの肖像」	新規展示動物のライチョウ来園に合わせて、雷鳥写真家 高橋広平の野生のライチョウの写真展を開催しました。	4月27日～5月26日	—
GW イベント「Save the animal～あなたの知らない絶滅危惧種」	絶滅危惧種をテーマに市内の環境保全団体などと協働し、体験型のイベント開催や展示ブースを出展。飼育員の特別ガイドも実施しました。	4月27日～5月6日	22,329名

環境月間パネル展「金沢動物園保全への取り組み」	園内で実施している環境保全活動の紹介や、環境省や JAZA と連携して取り組んでいる域外保全種を紹介するパネルを展示しました。	6月1日～6月30日	—
夏の企画展「身近ないきものを知ろう」	身近に見られる生きものたちの解説パネルと、環境保全活動の紹介や、環境省や JAZA と連携して取り組んでいる域外保全種を紹介するパネル展示、身近に観察できる昆虫の生態展示を実施しました。	7月20日～8月25日	—
Zoo to Wild Fes Autumn～人と自然の関わり	環境保全(人と自然の関りについて)をテーマに、市内の環境保全団体などと協働して、体験型のイベントや展示ブースを出展しました。	10月12日～14日	10,260名
Zoo to wild セミナー「ミヤコタナゴ」	野生ミヤコタナゴの研究者による講演と、飼育下個体の観察会を実施しました。 参加者アンケートの結果、例年では講演のテーマ種に動機づけられて参加をしていた方が多いところ、今回は保全に興味があり参加した方が多くみられました。セミナー後の印象でも、環境問題や保全への興味関心が高いことが示唆され、講師の経歴もあつてか、参加者は環境問題や保全活動の側面から野生動物ミヤコタナゴを学んでくれました。	11月9日	26名
動物園の野良ごと～山の手入れをしよう～	SDGsを意識しながら動物園で実践している環境保全活動を、わかりやすく普及するプログラムを実施しました。パネル展示と参加者体験型のイベントを開催しました。	2月11日～2月24日(パネル展) 2月16日(体験イベント)	体験イベント: 8名
Zoo to wild Fes spring～楽しくSDGzoo®	絶滅危惧種をテーマに市内の環境保全団体などと協働し、体験型のイベント開催や展示ブースを出展しました。	3月22日、23日	5,060名

その他、一般来園者を対象とした教育プログラムは、以下の7種を実施しました。

園名	プログラム名	概要
3園	動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施しました。 ・とっておきタイム(よこはま) ・お食事タイム(野毛山) ・わくわくタイム(金沢) 等
よこはま	ガイドツアー	動物の解説を聞ける特別な園内案内(ウォーキングツアー)、動物の餌を準備する台所の見学ツアーを実施しました。
	ズーラシア どうぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加していただけるワークショップや講座を実施しました。

	バードショー	鳥の飛行能力を体感できるバードショーを実施しました。
野毛山	ガイドツアー	「動物病院ガイドツアー」、「動物園の台所ツアー」を、事前申込制で実施しました。
金沢	ののほな教室	園内の草花や発生材等を活用した工作や炭焼き体験などにより、子どもたちが自然の豊かさと自然循環を体感できる教室を開催しました。
	ののほな館おはなし会	金沢区街の先生やボランティア団体を招聘して、絵本やかみしばいの読み聞かせ会を開催しました。

### (3) 調査・研究などに対する取組

大学や研究機関と協力して動物に対する科学的な知識を深め、その情報を多くの方々と共有し、野生動物の保全に貢献しました。

#### ① 日本をリードする取組

よこはま動物園では、24年ぶり繁殖に成功したシシオザルや10年ぶり繁殖したオカピの繁殖や飼育環境改善等をテーマに研究発表を行いました。また、野毛山動物園ではツキノワグマに実施したエンリッチメントの効果測定について日本大学との「Japanese black bear (*Ursus thibetanus japonicus*) ringing a bell: Anticipatory behavior or intrinsic motivation?」の共著タイトルで *Journal of Applied Animal Welfare Science* に投稿し受理されました。

#### ② 繁殖センター及び大学等外部機関との積極的な連携

大学や研究機関等との共同研究を通じて、効果的な研究を進めることができるよう取り組みました。特に、よこはま動物園では、繁殖の推進が求められているツシマヤマネコ、ホッキョクグマ、クロサイ等を対象に、繁殖センターとの共同研究により糞中ステロイドホルモンの測定、分析による発情、ペアリング適期の判定や妊娠判定などを行い、繁殖に向けた取組を計画的に進めました。

#### 【共同研究件数】

園名	大学等外部機関との研究件数(前年度比)	繁殖センターとの研究件数(前年度比)
よこはま	7件(-9件)	16件(+2件)
野毛山	15件(+1件)	2件(±0件)
金沢	21件(+2件)	3件(+1件)
計	43件(-10件)	21件(+3件)

#### 【大学等外部機関との主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	日本大学	ミナミアフリカオットセイの睡眠様行動の解析
	帝京科学大学	ホッキョクグマの糞中ストレスホルモンの季節的変動の分析

野毛山	東京農業大学	ミナミコアリクイの生殖生理に関する調査について
	帝京科学大学	リクガメ類に適したフィーダーの開発及び評価について
金沢	日本大学	アジアゾウを対象とした自動給餌機の作製とその効果の検証
	一橋大学	デザイン思考を用いた動物園の魅力向上策の研究

【繁殖センターとの主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	繁殖センター	ユーラシアカワウソの糞中性ステロイドホルモンの測定
	岐阜大学	ホッキョクグマの繁殖生理に関する研究
野毛山	繁殖センター	なかよし広場のモルモットにおけるストレス評価(休園日、通常プログラム、出張授業との比較)
	繁殖センター	カメ類の親子判定
金沢	繁殖センター	糞中の性ステロイドホルモン含量を指標としたアラビアオリックスの性周期のモニタリング
		糞中ホルモン測定によるカモシカの発情周期調査

③ 研究発表・論文投稿

調査・研究で得られた成果等を3園の職員間で共有するため、飼育研究会を各園で開催し、その成果を動物園研究会報として発行しました。また、顕著な成果については、学会等での発表や論文投稿に取り組みました。

【口頭発表・論文投稿件数】

園名	口頭発表件数(前年度比)	投稿記事、論文投稿件数(前年度比)
よこはま	9件(±0件)	2件(±0件)
野毛山	7件(±0件)	1件(±0件)
金沢	7件(-4件)	1件(±0件)
計	23件(-4件)	4件(±0件)

【口頭発表のテーマ例】

園名	発表先	テーマ
よこはま	第72回動物園技術者研究会	シシオザルの繁殖に向けた飼育管理及び繁殖の経過報告
	令和6年度みどり環境局業務研究・改善事例発表会	よこはま動物園におけるキジ舎の変遷からみる今後の飼育管理
野毛山	第34回日本動物園水族館両生類爬虫類会議	ハミルトンガメにおけるTSDについての考察
	第28回関東東北・北海道ブロック動物園水族館技術者研究会	チンパンジー・ピーコの57年と、ピーコから学んだこと

金沢	第 28 回関東東北・北海道ブロック動物園水族館合同技術者研究会	コアラの飼育におけるストレス軽減の取り組みについて
	第 79 回魚類自然史研究会	ヨコハマシジラガイ飼育の試み(経過報告)

### 【投稿記事・論文発表】

園名	発表先	テーマ
よこはま	Ecology and Evolution. 2024,14:70737	Prevalence and Transmission Cycle of Avian Pathogens in the Isolated Oceanic Islands of Japan 日本の離島における鳥類病原体の蔓延と伝播サイクル
	Frontiers in Immunology. 2024,15:1465952	Establishment and characterization of an immortalized red river hog blood-derived macrophage cell line アカカワイノシシ血液由来のマクロファージ細胞株の樹立
野毛山	Journal of Applied Animal Welfare Science (受理、掲載号未定)	Japanese black bear ( <i>Ursus thibetanus japonicus</i> ) ringing a bell: Anticipatory behavior or intrinsic motivation? 鈴を鳴らすツキノワグマ: 予期行動か内発的動機か?
金沢	「生物の科学 遺伝」いきものライブラリ④ハシビロコウの生物学 156-167 株式会社エヌ・ティー・エス(2024)	ウガンダ野生生物保全センターにおけるハシビロコウの保全活動ー生息地の動物園が果たす役割

#### ④ 研究成果の市民、来園者等への積極的な発表や還元

3動物園で行っている調査・研究の成果を市民向けに公開飼育研究会として開催しています。よこはま動物園では、インドネシアの熱帯林保全に関わる研究者とテングザル飼育担当者による講演会や、ホッキョクグマの写真家と飼育担当者による講演会を実施、また、野毛山動物園でミヤコカナヘビの保全に関わる方と飼育担当者による講演会と飼育個体の観察会などを行いました。

## 5 施設等の維持管理

### (1) 施設及び設備の維持管理

体制の整備や情報共有の仕組みの強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、全ての園内施設について仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。

修繕は、劣化状況を確認するとともに施設全体の状況を考慮し、最適な修繕方法を選択しました。過去の修繕状況を把握し、計画的に維持管理を行うことで施設・設備の長寿命化を図りました。そのほか今後の適切かつ円滑な施設修繕等に役立てるため、金沢動物園・野毛山動物園の設備台帳を作成しました。また、手すりや看板、ベンチの再塗装・更新など、利用者が快適・安全に過ごせるような維持管理を積極的に行いました。

### 【主な取組】

園名	概要
よこはま	アクアテラス・オージーヒル等照明 LED 化、ホッキョクグマ観覧場丸太化粧塀再塗装、ごろろ橋修繕、専用水道の管理開始 等
野毛山	設備台帳作成、管理棟・ふれあいコーナー照明 LED 化、人孔補修、散策地区竹垣修繕 等
金沢	設備台帳作成、竣工図書リスト作成、ナノハナ畑土留め柵設置、シロテナガザル舎人止め柵手すり改修 等

- ① 3園が連携した維持管理体制を確立  
「安全・安心の確保」を維持管理の最優先課題とし、組織的に取り組む体制を確立しました。
- ② 維持管理計画(修繕計画含む)に基づく計画的な業務  
各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

### 【修繕作業・工事実施実績】

園名	件数	
	令和6年度	令和5年度
よこはま	130 件	130 件
野毛山	48 件	53 件
金沢	77 件	89 件
計	255 件	272 件

- ③ 高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備  
公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に改訂作成し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を確保しました。
- ④ コスト削減を可能にする維持管理  
安全やサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないようこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。

### 【主な修繕実績】

園名	主な修繕
よこはま	アビシニアコロブス展示場擬ヅタ修繕、海獣舎電動弁ほか修繕、ユーラシアカワウソ展示場擬岩改修、ホッキョクグマ他安全対策機具設置、ころころ広場オブジェ再塗装、ゴールデンターキン土留め修繕、動物病院冷温水機発生器修繕、繁殖センター火災受信機修繕、オオアライクイ舎空調設備設置、ユーラシアカワウソ舎空調設置及び扉改修 等
野毛山	ペンギン展示場改修、人孔補修、散策地区竹垣修繕、ひだまり休憩所空調室外機修繕、小獣舎扉ほか腐食部修繕 等

金沢	コアラ舎等 ITV 設備更新、病院棟冷凍庫修繕、ののほなカフェ庇再塗装、斜面遊具修繕、管理事務所空調機用屋外機修繕、ゾウ舎計量器修繕、コアラ舎止まり木更新、管理事務所污水配管修繕、ののほな館冷温水機気密漏洩修繕 等
----	---

## (2) 園地及び遊具等の維持管理

「安心」「快適」で、「憩いと安らぎを提供する場」として植物等を活かした魅力づくりを行いました。また、緑や生物の多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行うことにより、各園の魅力を高めました。

特にナラ枯れについては、拡散防止及び利用者の安全確保を目的とし、枯損木の適切な処理を重点的に実施しました。

### 【主な取組】

園名	概要
よこはま	林床植物に配慮した草刈り、野鳥等に配慮した池周辺の管理
野毛山	外周部除草、利用頻度に合わせた草刈り、バラの育成管理
金沢	遊具修繕、高木剪定、園内各所舗装修繕、樹形・生育改善のための台場切り、「保全管理計画」に基づく既存林の調査や林床管理

#### ① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

マニュアル等により高水準な維持管理を確保しました。また、横浜市内の官公需適格組合「横浜市グリーン事業協同組合」との連携による効率的・効果的な維持管理を行いました。

#### ② 園地の維持管理(快適な園地環境の提供)

清掃業務を適切に実施しました。また、調整池・修景池、園路・広場、トイレ等の機能を損なうことなく、ゴミのない快適な空間を維持するよう、適正管理しました。老朽化した施設には修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕を図りました。

#### ③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れ・ミスの防止と、高水準な植栽管理を実現しました。また、サクラ、マツ、ナラ類等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しました。なお、作業は騒音等飼育動物に最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した形で、適正に図面・作業記録の作成・保管を行いました。

#### ④ 遊具施設の維持管理

遊具は、危険箇所、壊れた部品がないか、不具合がないか、近いうちに支障が生じる場所はないか等、安全面に十分配慮し、毎月の点検を実施しました。また、公園施設製品安全管理士による遊具詳細点検も実施し、指摘箇所は横浜市と相談し、早急に対応しました。点検結果はすみやかに市へ報告しました。

### (3) 施設及び設備等の安全対策

利用者の安心、安全の利用環境を提供するため、定期点検等を実施しました。また、予防保全及び速やかな修繕が実施できるよう、金沢動物園・野毛山動物園の設備情報をまとめた設備台帳を作成しました。

#### 【点検実施実績】

園名	点検名	実施回数等
3園	日常点検	毎開園日
	定期点検	年4回
	法定点検	設備に応じた点検頻度
	臨時点検・緊急点検	適宜
	建築物点検	年1回
	設備点検	設備に応じた点検頻度

#### ① 施設及び設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のため、公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

#### ② 施設の安全対策

安全性と快適性を特に重視し、維持管理を実施しました。定期点検は、「公園施設点検チェックシート」を使用して実施し、結果を市に報告しました。

## 6 管理運営経費

### (1) 算定の考え方

以下の通り、収入の増加と管理運営経費の削減に取り組みました。

#### ① 収入増加の取組

各種広報、地域連携活動やイベントの実施により、積極的に集客対策に取り組みました。既存の協賛企業の継続と新規協賛の獲得に努め、よこはま動物園は7社、野毛山動物園は1社と協賛契約を締結しました。また、動物の飼育環境改善や園内施設の改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度のほか、野毛山動物園では従来の募金に加え、新たにレッサーパンダ型募金箱やカプセルトイレの設置、返礼品付き寄付等の新たな取組を実施し、外部資金を活用しました(P.22～24 参照)。

このほか、3園のショップ・レストランの運営事業者と調整の上、世界〇〇の日と連携した商品開発等を行い収益増加に努めました。

#### ② 経費削減の取組

3園一体での共同発注や発注方法や契約内容の見直しを行うことで経費の削減に取り組み、効率化を図りました。

【主な三園共同発注】

園地管理業務	動物用飼料	消耗品購入
園内清掃業務	施設賠償責任保険	フロアーマット交換業務
警備・窓口等業務	自動車任意保険	利用者アンケート集計・分析
消臭芳香器交換業務	廃棄物処理業務	

③ コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。原則として、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、横浜市緑の協会経理規程に則って入札等の方法により調達しました。

④ 委託

物販・飲食業務、園地管理業務等、直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された業務については、委託により実施しました。

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位 円)

科 目	正味財産増減計算書内訳表					小計	収益事業等会計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通						
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	132,199	132,199	0	0	0	0	132,199
基本財産受取利息	0	0	0	132,199	132,199	0	0	0	0	132,199
特定資産運用益	22,269,553	0	0	0	22,269,553	0	788,701	0	0	23,058,254
特定資産受取利息	22,269,553	0	0	0	22,269,553	0	788,701	0	0	23,058,254
事業収益	0	1,331,152,396	3,039,820,966	0	4,370,973,362	1,426,085,405	0	0	0	5,797,058,767
事業収益	0	1,331,152,396	3,039,820,966	0	4,370,973,362	1,426,085,405	0	0	0	5,797,058,767
受取補助金等	2,000,000	336,311	2,000,000	0	4,336,311	0	0	0	0	4,336,311
受取横浜市補助金	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
受取民間助成金	0	0	2,000,000	0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
受取補助金等振替額	0	336,311	0	0	336,311	0	0	0	0	336,311
受取負担金	33,071,965	0	0	0	33,071,965	4	0	0	0	33,071,969
受取横浜市負担金	33,071,965	0	0	0	33,071,965	0	0	0	0	33,071,965
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
受取寄付金	9,183,965	1,880,359	15,852,888	0	26,917,212	0	0	0	0	26,917,212
受取寄付金	9,183,965	1,582,443	1,175,050	0	11,941,458	0	0	0	0	11,941,458
受取寄付金振替額	0	297,916	14,677,838	0	14,975,754	0	0	0	0	14,975,754
雑収益	2,517,462	1,227,389	2,372,990	0	6,117,841	2,812,592	2,139,040	0	0	11,069,473
受取利息	262	0	46	0	308	11,073	0	0	0	11,381
雑収益	2,517,200	1,227,389	2,372,944	0	6,117,533	2,801,519	2,139,040	0	0	11,058,092
経常収益計	69,042,945	1,334,596,455	3,060,046,844	132,199	4,463,818,443	1,428,898,001	2,927,741	0	0	5,895,644,185
(2) 経常費用										
事業費	141,346,127	1,453,159,722	3,304,077,566	0	4,898,583,415	1,016,643,434				5,915,226,849
役員報酬	450,125	1,186,694	1,432,217		3,069,036	695,649				3,764,685
給料手当	67,359,923	324,817,358	914,317,963		1,306,495,244	136,049,809				1,442,545,053
賞与引当金繰入額	3,840,941	28,069,640	79,112,345		111,022,926	5,698,176				116,721,102
賃金	2,257,149	220,777,579	48,868,299		271,903,027	84,405,442				356,308,469
派遣者賃金	18,950	54,252	64,983		138,185	35,243				173,428
退職給付費用	2,398,195	11,072,097	49,829,158		63,299,450	4,270,954				67,570,404
法定福利費	11,163,569	75,452,954	161,622,253		248,238,776	27,447,601				275,686,377
福利厚生費	443,308	6,143,603	6,936,671		13,523,582	1,338,499				14,862,081
教育研修費	237,589	1,173,724	1,397,739		2,809,052	284,814				3,093,866
会議費	6,458	0	0		6,458	0				6,458
旅費交通費	489,267	2,136,376	4,569,245		7,194,888	876,485				8,071,373
通信運搬費	830,071	7,695,812	5,657,907		14,183,790	2,916,332				17,100,122
減価償却費	170,473	4,054,930	16,804,563		21,029,966	22,891,951				43,921,917
公共施設負担金償却費	0	0	0		0	2,676,474				2,676,474
消耗什器備品費	633,390	3,013,896	1,796,914		5,444,200	1,141,659				6,585,859
指定管理対象財産購入費	0	269,148	12,134,837		12,403,985	0				12,403,985
消耗品費	11,841,675	42,776,841	197,586,878		252,205,394	8,035,255				260,240,649
修繕費	8,102	32,320,490	110,040,892		142,369,484	17,863,793				160,233,277
印刷製本費	418,893	3,264,795	13,786,389		17,470,077	4,801,567				22,271,644
燃料費	55,981	2,570,020	2,275,629		4,901,630	130,119				5,031,749
光熱水料費	483,509	157,108,499	382,032,239		539,624,247	24,707,514				564,331,761
賃借料	3,889,452	20,901,782	37,804,671		62,595,905	75,712,466				138,308,371
管理許可使用料	0	0	0		0	222,278,356				222,278,356
保険料	21,272	1,404,681	1,619,262		3,045,215	2,278,140				5,323,355
諸謝金	2,761,684	11,271,673	3,732,806		17,766,163	1,086,604				18,852,767
交際費	3,348	148,139	35,540		187,027	0				187,027
渉外費	31,002	369,098	187,455		587,555	0				587,555
諸会費	0	127,300	4,337,339		4,464,639	192,500				4,657,139
租税公課	126,029	53,732,246	106,351,536		160,209,811	58,542,242				218,752,053
支払負担金	6,031,299	3,080,800	1,361,463		10,473,562	133,142				10,606,704
支払助成金	16,955,437	42,000	0		16,997,437	0				16,997,437
支払寄付金	0	0	863,940		863,940	0				863,940
委託費	8,043,867	435,462,124	1,108,300,368		1,551,806,359	259,389,006				1,811,195,365
手数料	240,775	1,161,645	11,025,824		12,428,244	12,317,325				24,745,569
広告費	134,394	1,317,299	18,165,976		19,617,669	231,296				19,848,965
仕入代金	0	0	0		0	38,181,231				38,181,231
雑費	0	182,227	24,265		206,492	33,790				240,282
管理費							47,150,137			47,150,137
役員報酬							13,983,955			13,983,955
給料手当							9,530,481			9,530,481
賞与引当金繰入額							859,257			859,257
賃金							604,786			604,786
派遣者賃金							17,246			17,246
退職給付費用							974,579			974,579
法定福利費							2,191,555			2,191,555
福利厚生費							310,789			310,789
教育研修費							123,124			123,124
会議費							492,590			492,590
旅費交通費							44,626			44,626
通信運搬費							395,153			395,153
減価償却費							86,071			86,071
消耗什器備品費							44,789			44,789
消耗品費							1,401,961			1,401,961
修繕費							5,807			5,807

科 目						取 引 事 業 等 会 社	法 人 会 計	内 部 取 引 等 消 去	合 計
	緑 化 推 進 事 業	公 園 事 業	動 物 園 事 業	共 通	小 計	経 営 事 業			
印刷製本費							100,473		100,473
燃料費							1,214		1,214
光熱水料費							346,550		346,550
賃借料							2,152,338		2,152,338
保険料							2,481		2,481
諸謝金							3,827,082		3,827,082
交際費							394,094		394,094
渉外費							1,005,553		1,005,553
諸会費							614,800		614,800
租税公課							64,527		64,527
支払負担金							569,600		569,600
支払助成金							504,000		504,000
委託費							6,237,276		6,237,276
手数料							167,054		167,054
広告費							96,326		96,326
経常費用計	141,346,127	1,453,159,722	3,304,077,566	0	4,898,583,415	1,016,643,434	47,150,137	0	5,962,376,986
評価損益等調整前当期経常増減額	△72,303,182	△118,563,267	△244,030,722	132,199	△434,764,972	412,254,567	△44,222,396	0	△66,732,801
基本財産評価損益等	0	0	0	△88,323	△88,323	0	0	0	△88,323
特定資産評価損益等	△12,160,153	0	0	0	△12,160,153	0	△10,320,000	0	△22,480,153
評価損益等計	△12,160,153	0	0	△88,323	△12,248,476	0	△10,320,000	0	△22,568,476
当期経常増減額	△84,463,335	△118,563,267	△244,030,722	43,876	△447,013,448	412,254,567	△54,542,396	0	△89,301,277
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益	0	190,000	0	0	190,000	0	0	0	190,000
経常外収益計	0	190,000	0	0	190,000	0	0	0	190,000
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	2	10	0	12	2	13	0	27
経常外費用計	0	2	10	0	12	2	13	0	27
当期経常外増減額	0	189,998	△10	0	189,988	△2	△13	0	189,973
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△84,463,335	△118,373,269	△244,030,732	43,876	△446,823,460	412,254,565	△54,542,409	0	△89,111,304
他会計振替額	0	0	0	404,150,924	404,150,924	△457,559,455	53,408,531	0	0
うち収益の繰入				404,150,924	404,150,924	△404,150,924	0	0	0
うち資産の移転				0	0	△53,408,531	53,408,531	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△84,463,335	△118,373,269	△244,030,732	404,194,800	△42,672,536	△45,304,890	△1,133,878	0	△89,111,304
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	292,500	0	0	292,500
当期一般正味財産増減額	△84,463,335	△118,373,269	△244,030,732	404,194,800	△42,672,536	△45,597,390	△1,133,878	0	△89,403,804
一般正味財産期首残高					247,738,397	2,773,291,199	3,767,293	0	3,024,796,889
一般正味財産期末残高					205,065,861	2,727,693,809	2,633,415	0	2,935,393,085
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金	4,984,812	100,000	1,561,977	0	6,646,789	0	0	0	6,646,789
基本財産評価損	0	0	0	43,827	43,827	0	0	0	43,827
特定資産評価損	67,074,472	0	0	0	67,074,472	0	0	0	67,074,472
一般正味財産への振替額	0	△634,227	△14,677,838	0	△15,312,065	△4	0	0	△15,312,069
当期指定正味財産増減額	△62,089,660	△534,227	△13,115,861	△43,827	△75,783,575	△4	0	0	△75,783,579
指定正味財産期首残高					2,532,550,177	9	0	0	2,532,550,186
指定正味財産期末残高					2,456,766,602	5	0	0	2,456,766,607
III 正味財産期末残高					2,661,832,463	2,727,693,814	2,633,415	0	5,392,159,692

【参考資料】

1 広報印刷物実績

<3園>

発行時期	広報印刷物名
令和6年7月	よこはま夜の動物園 2024 ポスター B1 版 158 枚、B3 版 4,014 枚

<よこはま>

発行時期	広報印刷物名
令和6年4月	開園 25 周年記念ステッカー300 部 ズーラシア ガーデンパーティーチラシ A4 判 1,000 部
令和6年6月	園内マップ 日本語版 180,000 部、外国語版 5,000 部 イベントガイド夏号 30,000 部
令和6年7月	夏イベントポスター B1判 253 部、B3判 2,434 部 夏イベントチラシ A4判 10,092 部 ナイトズーラシア専用マップ A4判 30,000 部
令和6年8月	ドリームナイトアットザズー専用マップ A4判 1,000 部
令和6年9月	秋イベントポスター B1 判 254 部、B3 判 2,463 部 イベントガイド秋号 45,000 部
令和6年 11 月	園内マップ 外国語版 5,000 部
令和6年 12 月	冬イベントポスター B1 判 244 部、B3 判 2,461 部 イベントガイド冬号 30,000 部
令和7年 1 月	ほっとスポット園内チラシ 500 部
令和7年2月	園内マップ 日本語版 200,000 部、外国語版 7,000 部
令和7年3月	春イベントポスター B1 判 247 部、B3 判 2,458 部 イベントガイド春号 50,000 部 ズーラシア ガーデンパーティーチラシ A4 判 4,000 部

<野毛山>

発行時期	広報印刷物名
令和6年4月	園内マップ日本語版 20,000 部、英語版 5,000 部 のげやまどうぶつえんだより 初夏号 200 部
令和6年5月	園内季刊誌ふお〜し〜ず〜ん 夏号 第 104 号 1,000 部
令和6年7月	園内マップ日本語版 20,000 部、英語版 5,000 部 のげやまどうぶつえんだより 夏号 200 部
令和6年8月	野毛山動物園秋イベントポスター B1判 73 部・B3判 1,521 部、園内季刊誌ふお〜し〜ず〜ん 秋号 第 105 号 1,300 部、のげやまどうぶつえんだより 秋号 450 部
令和6年 10 月	のげやまどうぶつえんだより 冬号 300 部
令和6年 11 月	野毛山動物園冬イベントポスター B1判 71 部・B3判 1,495 部、園内マップ日本語版
令和7年1月	のげやまどうぶつえんだより 冬号②300 部
令和7年2月	野毛山動物園春イベントポスター B1 判 78 部、B3 判 1,507 部、園内マップ日本語版 20,000 部 園内季刊誌ふお〜し〜ず〜ん 冬号 第 107 号 1,000 部

<金沢>

発行時期	広報印刷物名
令和6年4月	金沢動物園だより4月号 300部
令和6年5月	金沢動物園だより5月号 300部、
令和6年6月	金沢動物園だより6月号 200部 園内マップ 25,000部
令和6年7月	金沢動物園だより7月号 200部
令和6年8月	金沢動物園だより8月号 300部、秋ポスターB1版 145部・B3版 1,315部 ナイト金沢マップ 1,800部
令和6年9月	金沢動物園だより9月号 300部
令和6年10月	金沢動物園だより10月号 300部 園内マップ 5,000部
令和6年11月	金沢動物園だより11月号 300部、冬ポスター B1版 145部・B3版 1,290部
令和6年12月	金沢動物園だより12月号 300部、園内マップ 20,000部
令和7年1月	金沢動物園だより1月号 150部
令和7年2月	金沢動物園だより2月号 200部、春ポスター B1版 145部・B3版 1,300部 パパママ便利マップ 10,000部
令和7年3月	金沢動物園だより3月号 200部、園内マップ 20,000部

2 ホームページでの情報発信実績

<3園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成28年7月～	三園の情報を発信するサイト

<よこはま>

特設サイト

名称	時期	内容
ズーラシアナイトフェスタ	令和6年7月、8月	ナイトズーラシアと同時開催となるイベントについての見どころ等を紹介

ブログ

名称	時期	内容
飼育日誌	平成19年4月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介
ブログ de ズーラシア	平成19年5月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成21年3月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成26年9月8日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成26年11月1日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ぱかぱか広場	平成27年9月1日～	ぱかぱか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介
ズーラシア春夏秋冬	令和3年4月1日～	飼育動物以外の園内で見られる動植物を紹介

<野毛山>

ブログ

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年4月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぷブログ	平成 21 年5月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年7月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる
のげやまとらいおん ～ TRY ON～	平成 29 年6月～	トラ(現在はいない)とライオンの日々の様子を紹介
植物トピックス	令和5年 11 月～	園地管理担当が見ごろを迎えた動物園、公園の欲物を紹介

<金沢>

ブログ

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年5月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年1月よりブログ化)
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
身近な自然といろんないきもの	平成 29 年5月～	身近ないきもの館の生きものや野生生物・植物について紹介
オオきなツノのヒツジの日記	令和2年8月～	オオツノヒツジの子の成長や群れの様子、生息地を訪れた様子について紹介
今週のイチオシ!	平成 25 年 12 月～	職員がとらえた直近のトピックスについて写真と短文で紹介

3 寄付を活用した展示場改修等の実績

<よこはま>

財源	概要
アニマルペアレント	シシオザル展示場の渡り木・支柱の更新等
寄付	オオアライクイ展示場の小屋の設置

<野毛山>

財源	概要
アニマルペアレント	フンボルトペンギン展示場の造波装置の設置等
寄付	ダチョウ及びフラミンゴの展示場日よけ設置

<金沢>

財源	概要
アニマルペアレント	コアラ舎の止まり木の更新等
寄付	オオツノヒツジ展示場日よけ設置

4 学校教育向けプログラム実績

<来園プログラム>

3園または2園

プログラム名	概要(コロナ拡大防止対応)	参加人数
① どうぶつ園のじゅうい	獣医の一日を紹介(DVDの貸し出しによる実施を含む)	1,283(よ) 1,231(野) 3,842(金)
② どうぶつの赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説	177(よ) 52(野) 875(金)
③ 動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	912(金)
④ 飼育員の一日	飼育員の一日の仕事を紹介	228(よ) 485(野) 828(金)
⑤ 職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	102(金)
⑥ 職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	10(金)
⑦ 職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	9(よ) 17(野) 6(金)

よこはま

プログラム名	概要	参加人数
⑧ ズーラシアの飼育員	動物園の役割や飼育員の仕事内容等を解説	55名
⑨ 動物福祉の取組	よこはま動物園の特徴や動物福祉の取組等を解説	65名
⑩ しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方を紹介	0名
⑪ オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明	97名
⑫ 色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話	187名
⑬ 獣医師のお仕事	写真を用いて動物のケガや病気を説明	833名
⑭ 獣舎バックヤードツアー	動物の寝室と飼料庫(餌置き場)に案内し、解説	1922名
⑮ 動物園の概要	動物園の役割やよこはま動物園の特徴についての解説	38名
⑯ 小動物とのふれあい	モルモットやハツカネズミとのふれあい方の解説と体験	1,215名

金沢

プログラム名	概要	参加人数
⑰ 虫はかせになろう	昆虫の説明と身近な生き物の観察	236名
⑱ 動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	2,088名
⑲ ゾウの健康大作戦！ (ガイド)	ゾウが健康で長生きするための飼育の工夫を、飼育員がゾウを観察しながらガイド	631名
⑳ キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	868名
㉑ 固有種が教えてくれること	日本の固有種と金沢動物園での固有種の保全活動について紹介	134名
㉒ どうぶつとSDGs	動物園の社会的役割やゾウの飼育方法を題材に、動物園でのSDGsの取り組みを紹介	0名

<出張プログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
⑳ 動物の赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについての解説(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	(よ)849名 (野)687名 (金)906名
㉑ 飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	(よ)1,179名 (野)1,378名 (金)1,589名
㉒ 動物たちにズームイン	クイズを通じた動物の解説	(よ)413名 (野)— (金)10名
㉓ 職業講話	飼育員や動物園の仕事の解説	(よ)428名 (野)305名 (金)

野毛山動物園

プログラム名	概要	参加人数
㉔ かんさつ名人になろう!	専用のワークシートを使用した、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法、観察方法の解説	983名

<先生方と内容を相談しながら作り上げるプログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
動物園学習	学校の要望に合わせ、学習プログラムを用意(園内での対面、DVDの貸し出し、オンライン、電話、資料提供、園内での対面実施を含む。)1回の出張もしくは来園で実施するプログラム	(よ)45名 (野)262名 (金)833名

連携授業	学校の要望に合わせ、動物の生態や動物園の役割等を先生や児童等と連携授業計画を作成。2回以上(原則1回以上来園)連続して実施するプログラム。(オンラインでの実施含む)	(よ)379名 (野)774名 (金)898名
------	--	-------------------------------

<小動物ふれあいプログラム>

野毛山動物園の小動物ふれあいプログラムは、リニューアル工事に伴い中止

## 6 動物園研究会実績

<よこはま> 12題

発表日	タイトル	テーマ
6月18日	よこはま動物園での動物飼育における安全対策について	安全管理
7月23日	オカピの飼育環境改善とその効果の検証	オカピ
8月27日	キジ舎の変遷からみる今後の飼育管理	キジ類
8月27日	ホッキョクグマのオス(ゴーゴ)の行動特性と管理方法が与える影響	ホッキョクグマ
9月3日	シシオザルの繁殖に向けた飼育管理及び繁殖の経過報告	シシオザル
9月13日	テングザルの腰を押さえる行動と気圧及び生理周期の関連性について	テングザル
10月7日	ケープハイラックスの腸石症について	ケープハイラックス
11月26日	チンパンジーの繁殖と搬出 今後の課題	チンパンジー
12月23日	企画展「身近な生き物展」について	企画展
1月31日	2例目のリカオン人工哺育経過について	リカオン
2月25日	キリンの安楽殺処置に至るまでの経緯	キリン
3月18日	SNSを活用したキャンペーンの実施報告	広報

<野毛山> 12題

実施日	タイトル	テーマ
5月2日	動物園におけるフードロスの実態とその解消策の検討	収支改善
6月3日	シロキの人工育雛を併用した繁殖成功例とそこから得られた知見	繁殖
7月9日	尿道閉塞に伴い膀胱癌カテーテルで維持管理したピグミーゴートの1症例について	泌尿器疾患
8月5日	「魅力発見!よこはま3動物園めぐり」実施報告	教育普及
8月19日	2023年度に再開した「動物園の台所ツアー」実施報告	教育普及
9月24日	傷病鳥獣保護事業で保護されたホンダタヌキの人工哺育に関する報告	傷病鳥獣
11月6日	2023年度 X(旧 Twitter)実績報告	マーケティング
12月20日	オグロワラビーにおけるカンガルー病調査	口腔内疾患
1月21日	フェロモンと動物の行動に関する考察	フェロモン
2月8日	のげモルたちはストレスを感じているのか?	モルモット
3月5日	グレビーシマウマの成長に伴う飼育管理	グレビーシマウマ
3月31日	R6年度普及プログラムについて	教育普及

<金沢> 12題

実施日	タイトル	テーマ
4月27日	ニホンライチョウの新規導入について	ニホンライチョウ
5月30日	金沢自然公園における保全活動について	保全活動
9月13日	多摩動物公園・アフリカゾウ拔牙処置・参加報告	アフリカゾウ(他園出張報告)
9月24日	コアラとユーカリ	コアラ
11月13日	インドゾウ展示場の日よけ設置について	インドゾウ
12月10日	ヨコハマシジラガイ飼育の試み(経過報告)	ミヤコタナゴ
1月28日	来園者参加のザリガニ調査と池の変化について	保全活動
2月4日	高温時におけるオオツノヒツジ展示場の利用状況	オオツノヒツジ
3月16日	オオカンガルーのウォークスルー型展示において展示時間の変更が個体の利用場所選取に与える影響	オオカンガルー
3月10日	飼育下ムササビにおける木の葉の嗜好性についての調査	ムササビ(傷病個体)
3月25日	オカピ老齢個体の飼育管理における症例とその対応	オカピ
3月30日	ニホンカモシカの繁殖の試み	ニホンカモシカ